

NEAR

THE 10TH SUB-COMMITTEE ON ECONOMY & HUMANITIES EXCHANGE

THE ENCOUNTER OF NORTHEAST ASIAN
ECONOMY AND HUMANITIES JAPANESE



2013. 12. 11 (Wed) ~ 13 (Fri)

Hyatt Regency Jeju



NEAR

THE 10TH SUB-COMMITTEE ON ECONOMY & HUMANITIES EXCHANGE

THE ENCOUNTER OF NORTHEAST ASIAN
ECONOMY AND HUMANITIES JAPANESE

Contents

事例プログラム	04
目次	05
開 会 詞	06
ご 祝 詞	07
特 別 講 演	09
事 例 発 表	19
主 題 発 表	53

プログラム

09:00 ~ 09:30		登録および会議案内
09:30 ~ 09:35	開会詞	Joo, Nak Young 韓国 慶尙北道行政副知事
09:35 ~ 09:40	祝 詞	Kim, Jae Hyo 東北アジア地域自治団体連合 事務総長
09:40 ~ 09:50		慶尙北道 弘報映像
09:50 ~ 10:35	事例発表	- 村企業と村 - Kim, Jae Kyung(韓国慶北 村企業支援センター長) - 野生草 都市と農村, 青年と年寄り、技術と伝統の創造的 結合 - Nam, Woo Young(韓国法人 有限会社 野生草 代表) - 田舎暮らし 1 0 年目の下手な農夫の小さな物語り。 - Gwon, Yong In(韓国慶北 英陽 日月山村域の推進委員長)
10:35 ~ 10:45	主題発表	社会的企業の成功事例 – Ha, Eul Ho(韓国大田廣域市)
10:45 ~ 11:00		Coffee Break
11:00 ~ 11:50	特別講演	シルクロードと韓流ロード – Choi, Gwang Sik(韓国前文化体育観光部長官)
11:50 ~ 12:00		記念撮影
12:00 ~ 13:30		昼食
13:30 ~ 14:30	主題発表	2013 京畿道協同組合の育成事業のご紹介 – Nam, Jun Su(韓国京畿道) - ニンシャ農民協同組合の発展現況 – Liu Zhijun(中国ニンシャファイ族自治区) - 復興に春が来たので風景が目立つね 湖北福興グループ以企帯村の記録 - Ye, jianwen(中国フベイ城) - コミュニティビジネスと兵庫県の事例 – 池上隆久(日本 兵庫県) - アルタイ村の発展 – 農工業複合地域の成功的発展のための基礎 - Zhilin Alexander(ロシア・アルタイ変更州) - サハ共和国 (ヤクチア) ハンカラスク 部落-ネミュキュンツ・ヤクツ 自治区 - Maxim Vasiliev(ロシアのサハ共和国)
14:30 ~ 15:30		討論および質疑

目 次

開会詞	Joo, Nak Young 韓国 慶尙北道行政副知事	
ご祝詞	Kim, Jae Hyo 東北アジア地域自治団体連合 事務総長	

[特別講演]		
シルクロードと韓流ロード	Choi, Gwang Sik (韓国前文化体育観光部長官)	09

[事例発表]		
村（マウル）企業と村	Kim, Jae Kyung (韓国慶北)	21
野(ヤ)生(セン)草(チョ)都市と農村,若者と年寄り,技術と伝統の創造的な結び	Nam, Woo Young (韓国慶北)	31
田舎住まい10年目、下手な農夫の小さな物語	Gwon, Yong In (韓国慶北)	37

[主題発表]		
社会的企業の成功事例	Ha, Eul Ho (韓国大田廣域市)	55
2013 京畿道協同組合の育成事業のご紹介	Nam, Jun Su (韓国京畿道)	65
ニンシャ農民協同組合の発展現況	Liu Zhijun (中国ニンシャファイ族自治区)	77
復興に春が来たので風景が目立つね-湖北福興グループ以企帯村の記録	Ye, jianwen (中国フベイ城)	85
コミュニティビジネスと兵庫県の事例	池上隆久(日本 兵庫県)	95
アルタイ村の発展-農工業複合地域の成功的発展のための基礎	Zhilin Alexander (ロシア・アルタイ変更州)	105
サハ共和国(ヤクチア)ハンカラスク 部落-ネミュキュンツ・ヤクツ 自治区	Maxim Vasiliev (ロシアのサハ共和国)	109

ご歓迎の詞

皆様、お目にかかれて光栄に思います
東北アジア地域自治団体連合の各会員団体の皆様を心よりご歓迎いたします。

大陸と海洋をつなげ、天恵の自然景観が秀麗な世界的な休養観光地であるこの濟州島で「2013 東北アジア地域自治団体連合 経済人文交流分科委員会」が開催されましたこと、お喜び申し上げます。
ご出席いただいた国内外の各会員団体及び発表者の皆様、そしてキム・ゼヒョNEAR事務総長と関係者の皆様にも心から感謝を申し上げます。

東北アジア連合は出帆して17年余りの歳月が流れる間、総会、実務委員会、分科委員会など各種行事をとおして会員国間の理解を増進し、交流のため継続に努力してまいりました。

我が慶尙北道でも「経済通商分科委員会」のコーディネートとして1998年より2012年まで第9回の「経済通商分科委員会」を開催し、通商促進セミナー、輸出商談、特産品及び優秀商品の展示などの行事をしましたし、毎年東北アジアビジネス促進会議を開催するなど各会員団体間の経済通商交流の活性化に継続して努力してまいりました。

これから我が慶尙北道は経済通商協力より、進んでは新たな文化隆盛の時代に融合と創造経済の次元で人文交流が経済分野につながり、経済通商交流が人文交流に伝播する東北アジア地域の真の共同繁栄に寄与するため既存の「経済通商分科委員会」を「経済人文交流分科委員会」として拡大・改編し、「東北アジア地域経済と人文交流の出会い」という主題として今回の会議を開催し、NEARの会員団体とともに化合と討論の場を開くことになりました。

我が慶尙北道では韓国の文化隆盛を導くコレア、シルクロードプロジェクト、慶州世界文化エキスポ、新村世界化などの事業をとおして人文と経済の融合発展のための継続な努力をしており、これからも「経済人文交流分科委員会」とともに協力し、益々内的な充実を期したいと考えております。

尊敬する各会員国の参加者の皆様！

今日のこの会議をとおして新たに開いていく東北アジア地域の経済と人文交流の舞台で地方政府間の協力がさらに拡大することをご期待いたします。これからも慶尙北道はいつも皆様とともに交流と協力をさらに強化してまいります。再び、NEARの「経済人文交流分科委員会」の開催をお祝いいたします。最後に、本日もご参会の皆様のご健康とご多幸を祈念し、お祝いのことばといたします。

御傾聴いただきありがとうございました。

韓国 慶尙北道行政副知事 Joo, Nak Young

ご祝詞

皆様、お目にかかれて光栄に思います。お忙しいなか、特別にご出席いただいた慶尙北道ジュ・ナクヨン行政府市長、また中国・日本・モンゴル・ロシアからご出席いただいた各会員団体の皆様、そして韓国代表の皆様に心より感謝を申し上げます。

世界的な観光名所である美しいこの濟州島で東北アジア地域自治団体連合(NEAR)の「経済人文交流分科委員会」が開催されましたこと、お祝い申し上げます。また、行事の準備に労苦を惜しなかった慶尙北道の関係者の皆様にも心より感謝を申し上げます。

ご存知のように、1998年NEARの初分科委員会として慶尙北道をコーディネートにし設立した「経済通商分科委員会」は出帆以来、会員地域間の実質的な経済通商交流をとおして地域共同の繁栄と経済発展を追求しながら経済及び投資政策の交流・協力はもちろん、投資通商セミナー、貿易商談会の開催及び電子商取引支援システムの構築など様々な交流・協力活動を展開してまいりました。

以後、経済通商交流協力の外縁を拡大するため、同年9月全羅南道で開催したNEAR実務委員会で「経済人文交流分科委員会」として改称した以来、始めて開催することになり意味深いと考えております。今日の経済活動は文化や感性など人文が結合した創造経済の時代に進みつつあり、これは意味のある変化だと考えております。

今の世界は国家間の国境を越えて地域間の協力が活発になる超国境時代に変化しており、地域及び地方間の交流・協力の重要性が日に日に高まっています。このような面で現在、東北アジア地域で生じている国家間の葛藤も地方政府間の交流、協力の強化をとおして解消できるものと考えております。

21世紀はアジアの時代であり、東北アジアが成長潜在力を基にして政治、経済、文化などでその中心側にあるほどその役割はかつてないほど大きいといえます。よってNEARは、経済、文化、教育、科学技術、環境、観光など様々な分野の分科委員会の活動をとおして地域内の交流・協力をさらに拡大していき、地域の平和や安定、繁栄を具現するため尽力してまいります。

くれぐれも、成功で生産的な分科委員会になることをお祈りいたします。また、本日もご参会の皆様のご健勝を祈念し、お祝いのことばといたします。御傾聴いただきありがとうございます。

東北アジア地域自治団体連合 事務総長 Kim, Jae Hyo

特別講演

シルクロードと韓流ロード

Choi, Gwang Sik

(韓国全前化体育観光部長官)

NEAR THE 10TH SUB-COMMITTEE ON
ECONOMY & HUMANITIES EXCHANGE

シルクロードと韓流ロード

Choi, Gwang Sik
(韓国全前化体育観光部長官)

始めに

私たちは、シルクロードを通じて絹を含む多くの文物と様々な宗教や文化を受け入れた。最初は草原路を通じて青銅器文化を受け入れており、シャーマニズムは、このとき北方から流入された。中国で始まった儒教思想は漢四郡時期、韓半島に伝来して収容されて今まで韓国人の価値志向に深く根ざしている。一方、インドで始まった仏教はガンダーラ地方を経て、川山路を通じて、西域から伝えられ、中国を経て韓半島に流入された。このようなシャーマニズム、儒教思想、仏教文化は韓国の歴史とともに呼吸してきており、土着化され、韓国伝統文化の根幹をなしている。

私たちは多様な文化をシルクロードを通じて受け入れて韓国文化の体質の上に変容発展させてきた。そして韓国は文化輸入国から文化輸出国になったとも言える。シルクロードが他の文化を受け入れた道だったら、韓国文化を世界に送り出す道を韓流ロードといえる。私たちはシルクロードと韓流ロードを通じて文化交流をさらに活発にして創造的な韓国の未来を設計することができるだろう。

1. シルクロードの概念

シルクロード（Silk road 絲綢之路）とは、言葉そのまま貿易を通じて絹が移動した道である。中国で生産された絹は交易品やプレゼントであって、周囲の諸国に伝わった絹は織物としては極上品に属するもので華麗な衣装の材料であるだけでなく、国家や個人間の譲与品やお金を代わりにする支払いの手段としてまで使われ、西欧世界でも貴重に扱われた。

シルクロードの基本的機能はオアシスの発展過程で現われた対象貿易による交易ルートであった。

より重要なのは、貿易を通じた人的交流、物的交流の付随的な現象として、文化の伝播と交流が行われたという点だ。従って、現在のシルクロードは‘文明交流’の代名詞としてより広い文化的意味で使われている。

シルクロードをめぐる文化交流とその通路に対する研究が多岐に進展され、シルクロードの概念は拡大された。中国から中央アジア、サアシアのオアシス地帯を経てイスタンブルとローマに達する貿易ルート全体を示すだけでなく、ユーラシア大陸北方草原地帯を東西に横断する‘草原路(ステップルート)’や南方のアラビア海、インド洋、東南アジアを迂回して東アジアにつながる‘海上路(南海ルート)’もその範疇に含まれたのだ

2. シルクロードと仏教文化

シルクロードが文明史的交流に多大な役割をしたということはいくら強調しても過言ではないが、特に我が国の歴史と関連して最も注目される点は、仏教文化の流入である。仏国寺、石窟庵、八万大蔵経などUNESCO指定世界文化遺産を含め、現在残っている文化遺産の半分以上が仏教関連遺跡と遺物としてその文化的影響力を推し量ることができるだろう。

仏教はインドから始まり、中国を通じて韓国に伝来された。仏教がインドから中国に伝播されたのは、シルクロードを通じてだった。仏教はガンダーラを経て、タクラマカン砂漠地域のオアシス路に乗って中国で入って来たが、先に西域南道地域で寺院建築の形で発達した。

以降仏教文化の中心は西域北道に移されたが、そこでは様々な石窟寺院の造成で表している。

カシュガルの三仙洞石窟やクチャのクズル・クムトゥラ石窟、焉耆のシクチン石窟、トルファンのベジエクリック石窟などがそれである。実は、中国のシルクロードの旅はまさにこの石窟寺院を探访する旅行といっても過言で、その中の代表的な石窟は敦煌の莫高窟(#2L、千仏洞)になる。

特に莫高窟の壁画は敦煌の石窟を代表している。そのなかで第220窟と第335窟に描かれた維摩経ピョンサンドの鳥羽冠を書いた人物は、中央アジアサマルカンドのアブラシアブの壁画に描かれた鳥羽冠を書いた人物とともに高句麗人がそのモチーフになったという点で私たちとも関係が深い。

敦煌は元国以降、オアシス口が衰弱してから、その役割が縮小された。そうするうちに20世紀初めに再び注目を受けることになったが、その理由は蔵経洞とも呼ばれるの莫高窟の第17穴から多くの量の古書と古文書が発見されたためだ。

その搬出された様々な資料の中には、我々とも直接的な関連があるものとは、ペリオが、フランスに送った資料の中に、新羅の僧侶・慧超が書いた《往五天竺国伝》が含まれていたことである。

3. 新羅美術とシルクロード

新羅美術が北方または西域の影響を強く反映しているという点は新羅美術の様々な特徴の一つと指摘されてきた。北方と関連しては紀元前7世紀頃出現した遊牧民族であるスキタイ文化が早くから注目されたが、スキタイ美術の特徴は動物文様である。これはスキタイの本拠地である黒海沿岸地域から遠く離れた中国の辺京にまで波及されていますが、その東部地域であるスキトシベリア(Scytho-siberia)の最後に韓半島が含まれている。

一方、新羅美術には西域の色彩も強く現れて、そのような姿をよく見せてくれるのが三国時代の新羅の古墳の副葬品である。その代表的な例が皇南大塚から出土されたガラス製品と金属工芸品である。

皇南大塚のガラス製品は南墳で7個、北墳から4つが出土されたが、このうち、シルクロード交易品とされるのは南墳3個、北墳2個だと言う。

このような物品が皇南大塚から出土した理由については、新羅が中国に頻繁に使者を送った事実と関連があるだろうという見方もある。もしこのように見ると、このような美術品の存在が新羅とシルクロード上の西域の直接交流を示す証拠とは断定できない。ただ、間接的であっても、新羅の文化に及ぼしたシルクロードの影響、シルクロードを通じた文化交流の様相を示す遺物であることは間違いないのだ。

統一新羅初期の彫刻は三国時代の伝統を基盤にしながらも、外国の最新動向を受け入れて消化して古いものと新しいものが共存する多様性を示していると評価されている。その後、統一戦争が終了する680年前後に、新羅の首都である競走を中心に事実に力があふれる作品が製作され始めた。これは、この時期深まった仏教に対する理解と発達した製作技術、そして唐がインドに留学や聖地巡礼に行ってきた僧侶たちが伝えてきた仏像の影響が複合された結果なのだ。

8世紀前半から中葉に至る時期には優秀な製作技術を基にバランスと調和がよく行われた仏像が制作された。代表的な作品がまさに石窟庵で、これは韓国美術の古典期を代表する傑作といえる。石窟庵は花崗岩石材を合わせて作った独特な形の人工石窟である。インドや中国の石窟が自然岩盤を穿って作られたものとは違う姿だ。

統一新羅彫刻の流れは南北朝時代や隋・唐など、中国の影響に韓国仏教の独創性が加味された結果である。ところが、新羅の彫刻の中にはゲルン(掛陵)の武無人像と一緒に中国以外に西域やインドの影響を受けたものとされる作品も確認されている。

新羅美術に見える西域的あるいはインド的要素が西域を通じて直接伝来されたものであるないが、中国を通じて入ってきたものであれ、新羅と西域、インドの間の直・間接的な交流関係自体は十分に認定され得ると考えられる。

4. シルクロードと韓国文化

これで私たちは東西交流にあたって、文明の交流の代名詞として‘シルクロード’の意味を理解してシルクロードを通じた文明交流の実像を歴史の現場で具体的に調べて見た。そしてこれを通じて韓国の文化が、古代から中国を含めて、西域、そして西洋に至るまで、様々な文化の影響を受けながら形成されてきたという点を確認することができた。その中でも特に宗教の流入が、大きな流れを占めていると言えるが、インドの仏教や西アジアのゾロアスター教、マニ教、イスラム教やキリスト教など私たちが知っているほとんどすべての外来宗教は、シルクロードを通じて東方に流入したのだ。その中でも仏教は、韓半島にまで伝来されて韓国文化形成の一軸を担当してきたのである。

韓国文化の特徴は単純に説明することはできず、韓国の文化は非常に重層的で複合的な性格を有している。よく韓国文化の特徴を質素さや素朴な味わいなどと表現するが、高麗仏画を見ると、華やかさと優雅さも、韓国文化の特徴というのが感じられる。質素さと素朴さは朝鮮時代の文化の特徴で我々がよく朝鮮時代のものを私たちの伝統文化全体だと誤解するためにそれだけを韓国文化の特徴と考えたのだ。私たちは隣国の中国の影響をたくさん受けながらもハングルのような独特な文化遺産を創造し、日本と交流していたことにも武士的伝統とは異なる性格のソンビ文化が発達した。歴史的に見てみれば、同じ韓国の伝統文化としても古代の文化と高麗の文化が違って、また、高麗の文化と朝鮮や近代韓国の文化が互いに異なっていた。高句麗古墳の壁画が持つ躍動性や百済金銅大香炉の精巧さ、新羅の金冠のバランス、高麗青磁や高麗仏画が持つ華やかさと優雅さ、朝鮮白磁や粉青沙器が持つ質素さと素朴さなど、時代別、国別、地域ごとに様々になっている文化的性格は韓国の文化が持つ多様性をよく見せてくれと言ふべきところだ。

韓国文化は、シルクロードを通じて外来文化と絶えず接触し、その内容を受け入れ、融合してきた。仏文化や儒教文化はみんなうちの国で固有に発生したものではないが、私たちはこのような文化を受け入れて韓国固有のものと融合させながら創造的な文化を発展させてきた。世界文化遺産に指定された石窟庵と海仁寺の八万大蔵経がそうだし、朝鮮時代の性理学の発達と両班(ヤンバン)文化が、さらにそう。

5. シルクロードと韓流ロード

前近代時代の文化交流を見ると私たちは大体シルクロードを通じて多様な文化を受け入れた‘文化輸入国’ではないかと思われる。シルクロード文化の中心であり、また、古代韓国文化の基礎になった思想の一つだった仏教は、シルクロードを通じて韓国に入ってきた代表的な外来文化だった。私たちはシルクロードを通じて多様な文化を受け入れて消化させて、圧縮してからそれなりの固有の個性を持った韓国文化を作ってきた。

ところが21世紀現在の我が国は、私たちが受け入れた様々な文化を韓国文化の土壌の上で創造的に融和させて、他の国に輸出する‘文化輸出国’になった。そのような文化現象がすなわち我らに慣れた流れである‘韓流’だ。アジアを越えてヨーロッパやアメリカ大陸までに全世界的に愛を受けたサイの‘江南スタイル’はその代表的現象と言えるのだ。2012年に韓国に訪問した外国人観光客が1,000万人を越えたが、1,000万人目の外国人観光客だった中国人の親子も中国で韓国のドラマ、K-Popに興味を感じていながら、韓国を訪問したという。言ってみれば、今は韓国文化を外国で流すターニングポイントであり、韓流を通じて、東西文明の文化、経済、政治を疎通させて融和させる新しいシルクロード、つまり‘韓流ロード’を生み出している時期なのだ。ただ、韓流ロードは、かつてシルクロードのような物理的な道ではなく、様々な媒体を利用するデジタルロードである。

韓流は1990年代前半ば、ドラマを通じてアジア地域で始まった。アジア地域でドラマ、映画など、韓国の映像コンテンツが人気を享受した1990年代後半から2000年代半ばまでを第一段階と見られるが、これを韓流1.0時代だといえる。以後2000年代半ばから2011年くらいまではアジアはもちろんフランスを中心とした西欧社会でK-Popの人气が広がった韓流の二番目の段階として、この時に韓流2.0時代と呼ぶことができる。

こうした韓流の進化過程を見れば、韓国の文化を通じてアジアだけでなく、世界人たちと疎通することがそんなに不慣れなことではないという点を発見することになる。。。だから、2012年以降はドラマや音楽といった大衆文化だけでなく、大衆文化を基盤にしながらも、韓国の伝統文化と芸術など、様々な文化全般を世界人たちと共感するために努力する時期として、これを韓流3.0時代に定義できると思う。K-PopやK-Dramaだけでなく、映画、クラシック、韓国語、スポーツ(テコンドー)、医療、法制、教育や産業横断のK-Culture、K-Styleが、世界各地で受け入れられる時代であるのだ。

この前韓国のインディーズバンドの北米ロック・フェスティバルで良い舞台を見せ、現地人たちの大きな反響を導き出したというニュースに接したことがある。ところで韓国のインディーズバンドのメンバーがアメリカ人は東洋的な感じで踊りながら遊んでくれる姿を見たらロック音楽が米国で始まったとしても韓国人たちが演奏すれば、韓国的な感じがするような気がしたという内容のインタビューをしていた。今まで私たちは、伝統文化をよく知らないことや現在の私に似合わないこと、さらには、世界人たちと共感しがたいものと思ってきたが、K-Popの事例を見ると、韓国の伝統文化は私たちに内面化されているということが分かる。

第二は現代の純粋文化芸術として今まで私たちは韓国文化の世界化に向けて様々な政策を展開してきており、その成果も少なくなかったが、実はまだ、我らの純粋文化芸術に対する世界人の関心は高くなかったと思う。ドラマと歌謡といった大衆文化芸術が私の日常を見せてくれたとしたら、純粋文化芸術は私たちの美意識、感性、思考体系を示すことができる媒体になるだろう。2011年、米国で発行された小説。お母ちゃんをよろしくの成功は、世界の人々が韓国の文化芸術に共感できることを示す事例である。人なら、誰にも通じる何かを入れている純粋文化芸術の力が韓流の根本に置かれているべきなのだ。

第三は様々な文化コンテンツの産業化として、産業化の目的は、標準化された生産と消費を通じた利益の実現であると同時に、これまで文化産業政策も同じく文化芸術と大衆文化を富の源泉と考えてきた面が強い。でもこれも創造して共有し、共感する‘文化’を媒介とするために一般的な産業とは別の側面がある。私たちの文化が創意力と想像力と結合されて新しい何を生み出すことは、ポ統領ポロロやポリチヨンリロボカポリの例に見られるようにその成功の可能性がすでに証明されているとする。

最後に

前近代にシルクロードを通じてわが国が外国の様々な国、様々な文明と交流したように、現代には韓流ロードを通じて他の国と絶え間ない文化交流を続けて出ている。これを通じて世界のいろいろな人たちが韓国の伝統文化、純粋文化芸術を見て、聞いて、楽しみながら共感して、私たちも彼らの文化を楽しむ双方向交流が実現されると思う。これがまさに韓流3.0時代の真の目標になるだろう、韓流が世界人たちの注目を再び受けるようになったことは2011年だ。K-Popがソーシャルネットワークサービス(SNS)やユーチューブなどのデジタルメディアを乗って世界に拡散し始めてからである。サイの「江南スタイル」もこのSNSとユーチューブのおかげで世界人たちの共感を引き出すことができたのだ。こうした脈絡から見れば韓流ロードの範囲は「デジタルロード」を含めているといえる。古代シルクロードで象徴された東西文明の疎通が初めて、陸上からスタートして、次第に海上路、空中飛行の路線が追加され、人工衛星とインターネットの発達で、今はユーチューブフェイスブックのような各種SNSなど、デジタルロードに拡大されたものといえる。シルクロードの中心が西岸とローマで、慶州は周辺だったが、韓流ロード(デジタルロード)の中心は韓国であり、これによって競走エキスポは、シルクロードの交差点のイスタンブールで成功的に行事を終えることができた。

このように私たちは自ら韓国文化の特徴をよく知って意味を付与し、楽しむことができないといけない。また、外国の人々が韓流を楽しむように、我々も他の文化を観覧して体験しなければならないだろう。私たちがシルクロードを通じて中国と西域や西洋の多様な文化を受け入れてより新しく発展させたように、相互交流の開かれた姿勢と融合・複合的な共存と調和の精神を堅持すると、韓流の持続的な発展を叶えるだろう。文化の双方の交流を通じて相互間の文化を尊重してさらに発展させ、人類文化の発展を図るべきであるものだ。

クチャのクズル・クムトゥラ石窟、焉耆のシクチン石窟、トルファンのベジェクリック石窟などがそれである。実は、中国のシルクロードの旅行はまさにこの石窟寺院を探訪する旅行といっても過言で、その中の代表的な石窟は敦煌の莫高窟(#2L、千仏洞)になる。

特に莫高窟の壁画は敦煌の石窟を代表している。そのなかで第220窟と第335窟に描かれた維摩経ビョンサンドの鳥羽冠を書いた人物は、中央アジアサマルカンドのアブラシアブの壁画に描かれた鳥羽冠を書いた人物とともに高句麗人がそのモチーフになったという点で私たちとも関係が深い。

敦煌は元国以降、オアシス口が衰弱してから、その役割が縮小された。そうするうちに20世紀初めに再び注目を受けることになったが、その理由は蔵経洞とも呼ばれるの莫高窟の第17穴から多くの量の古書と古文書が発見されたためだ。

その搬出された様々な資料の中には、我々とも直接的な関連があるものとは、ペリオが、フランスに送った資料の中に、新羅の僧侶・慧超が書いた《往五天竺国伝》が含まれていたことである。

事例発表

村（マウル）企業と村
Kim, Jae Kyung (韓国慶北) 21

野(ヤ)生(セン)草(チョ)都市と農村,若者と年寄り,技術と伝統の創造的な結び
Nam, Woo Young (韓国慶北) 31

田舎住まい10年目、下手な農夫の小さな物語
Gwon, Yong In (韓国慶北) 37

事例発表 01

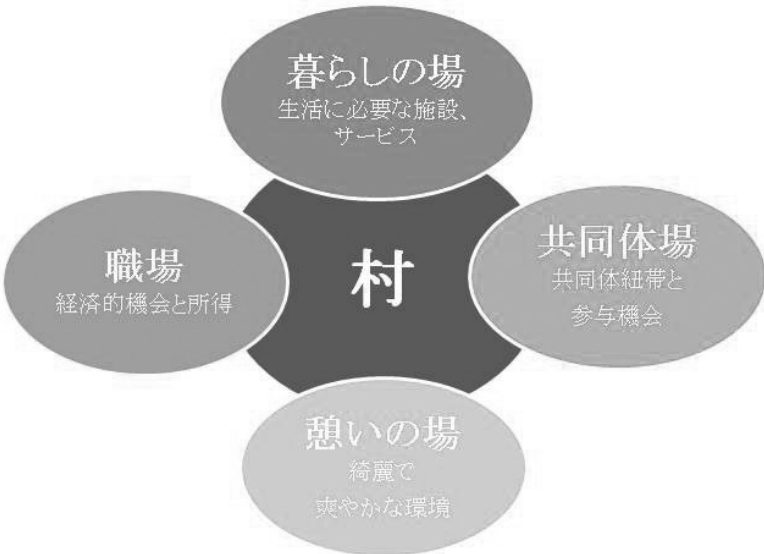
村(マウル)企業と村

Kim, Jae Kyung
(韓国慶北)

NEAR THE 10TH SUB-COMMITTEE ON
ECONOMY & HUMANITIES EXCHANGE

村(マウル)企業と村

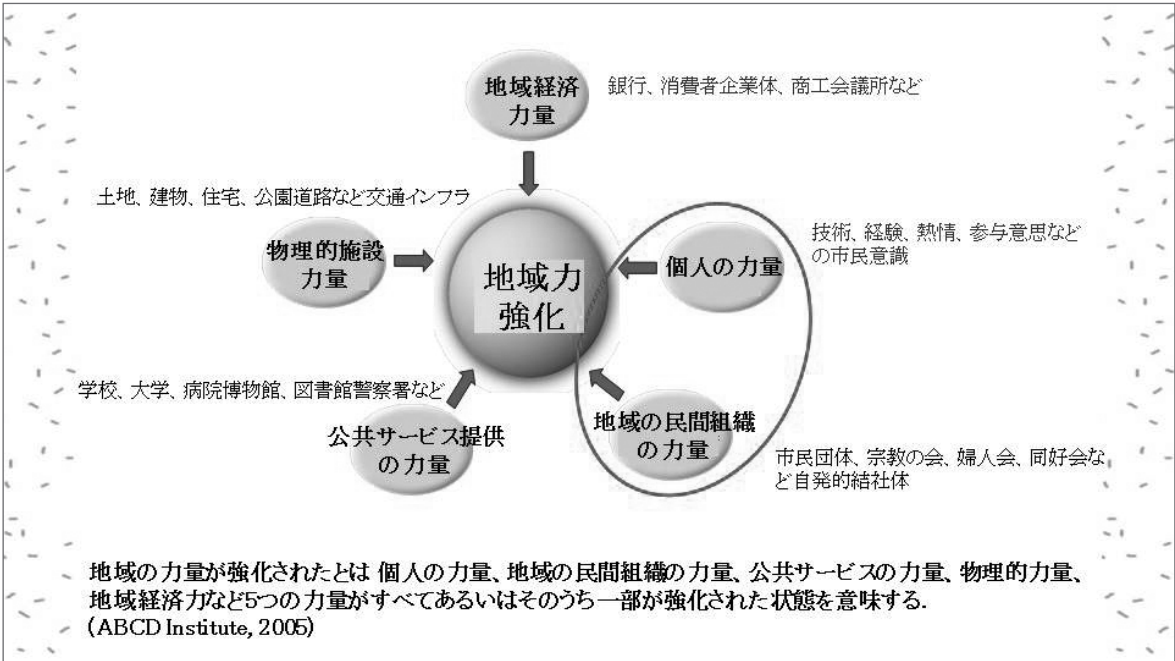
(社)コミュニティと経済 常任理事 キム・ジェギョン



村(マウル)企業

村の住民らが主導的に地域の各種資源を活用する
収益事業通じて地域共同体を活性化し、

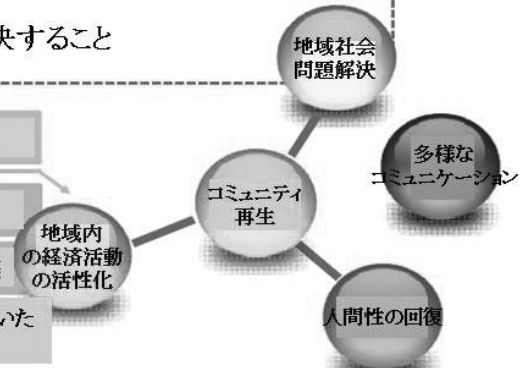
地域住民達に 所得 および 職場の提供で
地域発展に寄与する村単位の企業



コミュニティビジネスの登場

地域が直面した問題を住民が主体となって地域潜在資源の活用を通じてビジネス形態で解決すること

- ✓ 住民主体の地域密着型ビジネス
- ✓ 住民-資源ビジネスの有機結合
- ✓ 地域の新たな経済循環のシステム構築
- 地域のグローバル経済の中地域に根を置いたビジネス

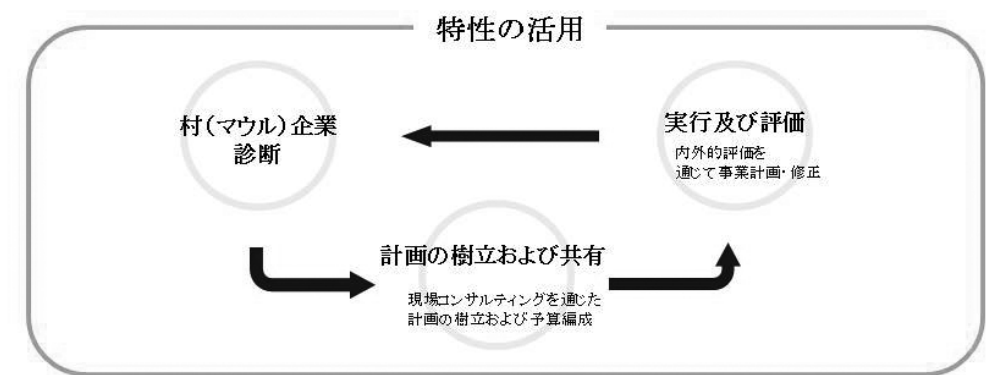


キム・ジェヒョン 他(2010)コミュニティビジネス活性化方策だ

村(マウル)企業の特徴

村(マウル)企業の特徴を4つの側面から分析

(1)共同体性 (2)地域性 (3)持続可能性 (4)経営システムなど4つに構成



村(マウル)企業

村(マウル)
(Community)

- 生活圏の最小単位
- 個人間のなじみと接触が活発
- 共通関心が形成された社会集団

ビジネス
(Business)

- 自立的、持続可能な組織
- 製品、サービスの効率的な供給
- 雇用と所得を創出
- 適正水準の利潤を追求

- ✓ 村(マウル)の支援を活用し、村(住民)でビジネスを主導
- ✓ 商品とサービスを提供(経済活動を営為)
- ✓ 雇用と所得を創出して地域活性化に貢献
- ✓ 地域コミュニティの回復・強化、地域経済の好循環構造形成

共同体 [参加者の主導性]

共同体 [Community]: 単純な結び付きよりは質的に強く深い関係を形成する組織共同体は

(1) 相互義務感 (2) 感情的紐帯 (3) 共同の利害関係 (4) 社会的ネットワークなどが
核心内容であり、葛藤は必須的に発生する要素



+ 地域性 [地域活性化及び地域問題解決]

地域[Local]：一定の空間領域で表現されて、空間的範囲に分かれますが
情緒的紐帯を通じて区画されたりする複雑な概念

(1) 空間的概念 (2) 文化的同質性 (3) 共同の記憶 (4) 社会的ネットワークなどが核心内容であり、
共同の記憶に対する郷愁は必須的に発生する要素である。

地 域
資 源

住 民 の
雇 用

ネットワーキング

貢 献
活 動

+ 経営システム [体系的な運営]

経営システム [Management system]

- ① 相互作用の関係にある各部分からなる全体という点だ
- ② 環境で物資・資金・情報・人材をインプット(input)して
それをアウトプット(output)に転換させる過程を持つ点
- ③ 一定の目的を達成するためのコントロールメカニズムを持つ点にある。

専 擔
部 署

組 織
管 理

財 務
会 計

生 産
管 理

+ 持続可能性

持続可能性[Sustainability]が概念の擁護者たちは持続可能性のために
彼らの必要を折衝して生態系を保存しようとする。経済学的には長期間持続される実際の
利益の生産と増加を意味する。

市 場
調 査

製 品
計 画

広 報
マーケティング

売 上
職 場

○ 軍威トウモロコシ営農組合法人 [2012優秀村(マウル)企業]

- 2012 選定 [2012 優秀村(マウル)企業を選定]
- 軍威郡ソボ面のトウモロコシの栽培農家を中心に営農組合構成(40農家)
- 契約栽培で材料需給高い価格で全量買い上げ(150%ほど高い価格)
- 地域の栽培農家90世帯あまりの生産物の買い上げ



- 品質向上のための持続的な投資と努力 - HACCP(2012)認証
- 積極的なマーケティング
 - 大邱など都市消費者作業場の招請や農場体験、博覧会参加など
- 常勤6人、非常勤20人



○ 栄州(社)順興スーパーグループ農楽保存会 [2011優秀村(マウル)企業]

- 2011, 2012選定 [2011優秀村(マウル)企業に選定]
- 順興面伝統農楽を保存、継承する韓国の農楽隊で構成(33人、平均70代)
- 高齢者が日常生活で使用していた技術の活用(わら用品、木工芸、杵、牛車、農楽公演など)
- 栄州ソンビ村内で商品生産や体験提供



ソンビ村体験場



共同体性		収益性	
共同体性	地域性	持続可能性	経営システム
トウモロコシの栽培農家 近隣の農家も参加 営農組合運営	生産基盤拡大 雇用参加 材料や所得循環	製品開発教育/実習 広報/マーケティング努力 販売目標設定	業務分掌 参加者管理 収益金積立

- 韓国の農楽隊を基盤とした共同体組織
- 社団法人設立を通じた伝統能楽の保存と普及のための安定的基盤作り
- 地域共同体活性化の努力 - 恵まれない人々を助けるため、奨学金など
- 持続的な教育訓練 - 木工芸、韓紙、草ぶきの屋根葺きなどの新規事業開発
- 常勤9人、非常勤20人



共同体性		収益性	
共同体性	地域性	持続可能性	経営システム
韓国の農楽隊員中心 定期公演や練習 地域と連携	地域住民参加 地域資源活用 農業公演と連携	製品開発教育/実習 長期発展計画の樹立 品目別構成	業務分掌 参加者管理 収益金積立

事例発表 02

野(ヤ)生(セン)草(チョ)

都市と農村, 若者と年寄り, 技術と伝統の創造的な結び

Nam, Woo Young
(韓国慶北)



野(ヤ)生(セン)草(チョ)

都市と農村, 若者と年寄り, 技術と伝統の創造的な結び

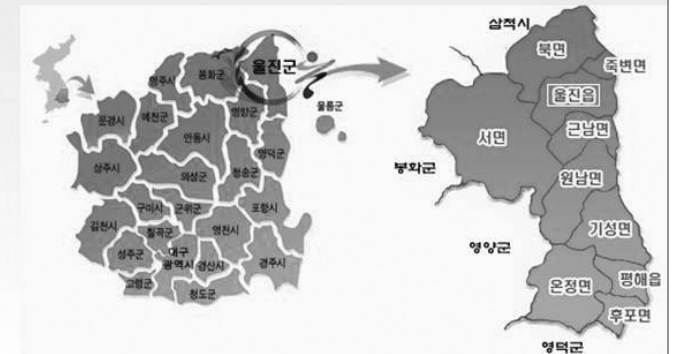
2012年 4月 15日 法人 有限会社 野生草 設立
2013年 8月 23日 「アサハン 0.7 低塩キムチ」発売

慶尙北道 蔚珍郡 蔚珍邑 皓月1里 100-2番地 ☎ 054 - 781 - 1561
インターネット : www.herbgimchi.kr

ASAHAN

■ 野生草 (ヤセンチョ) が見る村企業

- ㄱ 1. 生産地の立場で見る消費地
- ㄱ 2. 青年のための職場と老人福祉
- ㄱ 3. 伝統の再解析を通じた創造経済



ASAHAN

【アサハン 0.7 低塩キムチ】

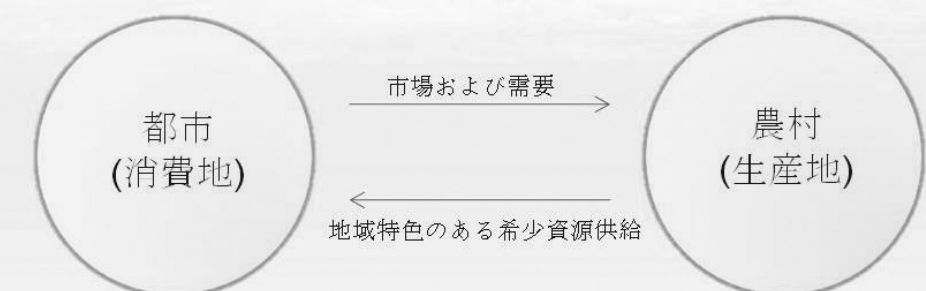
- ㄱ 最初! キムチ発酵の限界線、塩度 1.7%を切る. : 低塩キムチ
- ㄱ 最初! 味-香-質感 味覚 メカニズムで塩なしでも塩味を具現.
- ㄱ 韓食の世界化のための「乳酸菌発酵の完全食品」!



ASAHAN

1. 生産地の立場で見る消費地

- ㄱ 先行条件 :
自己地域の特色と差別性に関する分明的な理解
市場サーチを通じた消費地に合う方向性の設定後、商品開発



- ㄱ 市場サーチの接近キーワード :
トレンド(首都圏), 地域(江原圏), 論理(忠清圏), 人(全羅圏),
健康(南海圏), 伝統(慶尙圏)

ASAHAN

○ アサハン 0.7 低塩キムチは.....



ASAHAN

○ アサハン 0.7 低塩キムチは.....



ASAHAN

2. 青年のための職場と老人福祉

♪ 青年の熱情と年寄りの経験を合わせるOPEN MIND !

♪ 青年: 企画, 開発, 対外業務

- ▷ 独創的な発想
- ▷ 進取的な挑戦
- ▷ 社会問題解決への意志

♪ 年寄り: 生産、地域管理

- ▷ 地域に対する専門性
- ▷ 経験的な知識
- ▷ 自分に仕事への責任感



ASAHAN

3. 伝統の再解析を通じた創造経済

♪ 伝 統

- ▷ 強い生命力 WHY?
- ▷ 本質的価値の再発見
- ▷ 市場の変化が克服できる希少価値

♪ 技 術

- ▷ 社会問題を解決するための手段
- ▷ 疎通することでより進歩された創造的技術の開発
- ▷ 伝統に技術を加え付加価値を創出する

♪ 伝統と技術の融合を通じた'創造経済'

ASAHAN

○ アサハン 0.7 低塩キムチは.....

野草を薬味で 冬場のキムチづくり市新地平開いて

‘살맛나는 경북’
일자리가 희망이다

12. 함께가는 마을기업-울진군 (유)아생초



(유)아생초 남우영 대표와 직원들이 소독증대와 일자리창출을 위해 화이팅을 외치고 있다.

저나트륨·저열소·고칼슘 김치제조 방법 특허
쇼핑몰·백화점 등 납품...美·日서도 계약 추진

울진의 자연자원을 활용하고 지역 주민이 함께 일을 모아 창조적 마을 기업을 만들어 농가소득 및 일자리 창출에 일조하고 있다.
울진군 울진읍 호월리에 위치한 (유)아생초는 기업체 취업, 대학교수 생활을 하던 남우영씨가 도시생활을 접고 귀향하면서 만든 마을 기업이다.
남씨는 농촌에서 할 수 있는 일을



유정복 연행부 장관이 지방자치 스타트업랜드 특별전에 참석. 울진군 마을기업 (유)아생초가 만든 저염도 김치를 시식하고 있다.

구점초, 아카시아, 담두콩, 콩, 감대 등 30여가지 야생초를 재워 김치 양념으로 사용하고 기능성 김치를 만들게 됐다.
지난해 5월24일 특허청으로부터 아생초를 이용한 저나트륨, 저열소, 고칼슘 김치제조 방법을 특허받아 식품업계 최초로 김치 제조에 성공, 주목을 끌었다.
이어 인터넷 식자재 전문쇼핑몰인 팜마켓에 꾸준히 납품해 삼성전자에 2천만원 납품되었고, 갤러리아,

다. 이번 행사는 전국 17개 시·도, 83개 시·군·구에서 총 116개 업체가 참여한 가운데 진행됐다.
(유)아생초의 ‘아사한 0.7저염김치’는 고나트륨 식품에 대한 개선의 필요성이 꾸준히 제기되고 있는 식량과 맛을려 ‘소금대신 유산균’으로 발효시켜 저염도 김치를 만들었다는 점에서 많은 관심을 받았다.
이날 유정복 안전행정부장관 등 관계자에게도 깊은 인상을 수여 받았을 뿐만 아니라 일본, 중국 등의 바이어와도 수출에 관한 건전한 상담을 진행하는 등의 성과를 올렸다.
남우영 아생초 대표는 “울진지역에서 생산되는 무, 배추 등 원재료의 고추, 마늘, 허브식물, 버섯 등 기타 부재료들 지역농가와 계약재배로 확보하여 지역농가의 소득을 증대시키고 지역주민의 안정적이고 지속적인 일자리 제공에 최선을 다할 것”이라고 말했다.
군 관계자는 “이번 제1회 대한민국 지방자치 박람회를 통하여 마을기업에서 생산되는 우수한 제품 ‘아사한 0.7%저염김치’를 전국적으로 알리는 계기가 되었다”며 “앞으로 마을기업을 더욱 발전시켜 지역공동체 활성화를 물론 안정적일 일자리창출에도 최선을 다 할 것”이라고 말했다.
울진·영동대기자 yyo@ddsegu.co.kr

ASAHAN

事例発表 03

田舎住まい10年目、
下手な農夫の小さな物語

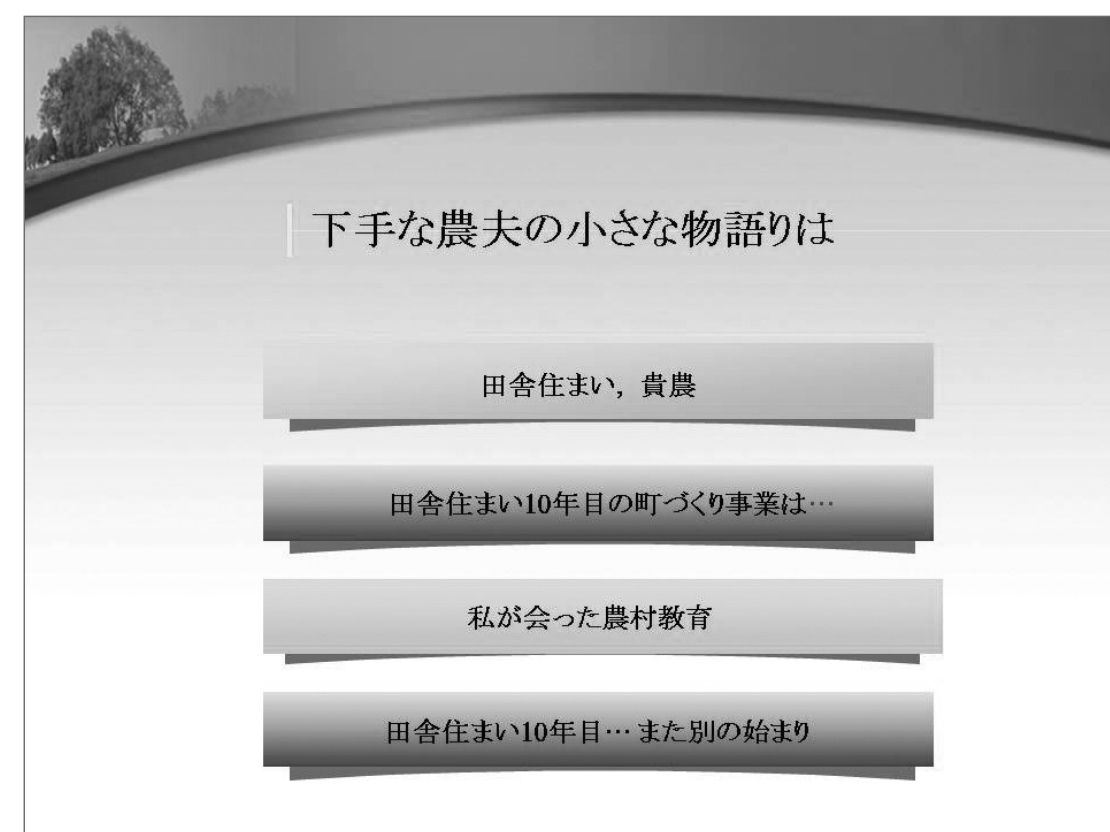
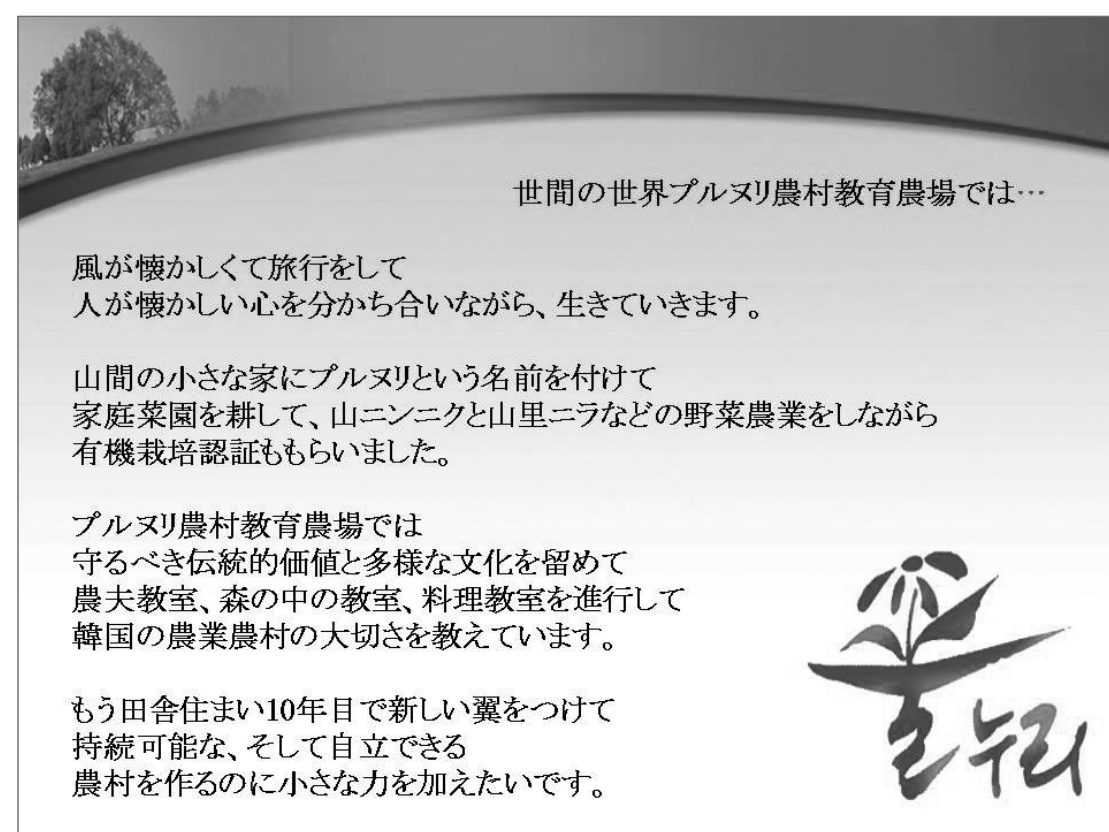
Gwon, Yong In
(韓国慶北)

○ 村（マウル）企業が歩くべきの道

- ㄱ 1. 地域全般を有機的に連結する架橋の役割
- ㄱ 2. オープンされた疎通の窓
- ㄱ 3. 地域の村を越え地球村へ!



ASAHAN





■ 田舎住まい、貴農

○ 農夫となった渤海1300号

- 韓国在来種の野菜：山ニンニク、山里ニラ、ヨメナ…
山と野原、自然のサイクルにより生産される
旬食の生産で消費者たちの新たな欲求を満たす
- 時間農業：短時間に生産されない自然野菜の特殊性で
需要供給の市場占有で差別化された販売
- 歸農？ 貴農…
田舎住まい(人生)



デティゴルの山ニンニク作木組

대티골 산마늘 작목반

산마늘은 식물 전체에서 마늘보다
세게 나며 지리산 오대산 설악산의 고
산지대로 유통되며 자생하고 있다.
지렁이장 이노, 장강, 미로초, 강기, 건
위, 소와 등에 익혀져 있으며, 향이 좋고
식용으로 유용하며, 기온차, 산성토 등 각
종 환경조건과 산성토, 황폐토에서도 쓰
이므로, 황폐토에도 우수하다고 알려져 있다.

두메부추는 아주 원존한 산악
야채 비단기과 참깨과 같이 아주 참깨하
기 어려운 곳에 자생하고 있으며,
소화를 돕고 장을 튼튼하게 하며 피를 맑
게하여 항암효과를 가진 미온, 산성토, 약
효가 있다.
또한 몸을 담그는 보온효과가 있어 몸
이 한 사람에게 좋으며 산성토, 약효도
있으며, 산후, 치질 및 혈전, 시통, 변
비, 구토 등의 치료 및 개선효과가 있다고
알려져 있다.

유기농산물
대한농산물유통협회
제14-1-2호



渤海항로 뱃목탐사대, 겨울바다와 死闘 23일째

“파도야, 그들을 보내다오”

“꼭 부산港 가겠다” 交信

탈진, 육안과 싸우며 항해 계속

북풍에 航路 잃고 비록으로 표류

산마늘 김치

산마늘 김치

산마늘 김치



영양 대티골

영양 대티골

영양 대티골

두메부추 山里ニラ 200g

산마늘 김치 1Kg

산마늘 100g

산마늘

History

2004 田舎暮らし(人生)- 慶尚北道英陽郡日月面デティ路140

2007 FTA克服慶尚北道金持ちの町づくりプロジェクトの公募
デティゴール自然治癒生態村を選定

2008 プルヌリ農村教育農場に選定
(農村振興庁/英陽郡農業技術センター)

2009 自然生態優秀の町として指定(環境部長官)
デティゴール美しい森の路に選定(山林庁、生命の森)

2010 農漁村体験休養村として指定
ウェシ足袋路(青松、英陽、奉化、寧越)英陽治癒の森の道

2011-2012 農漁村総合開発事業 日月山村圏域駅基本計画の樹立
環境部長官賞受賞(生活下水 自然浄化施設による水質保存)

2013 自然生態の優秀村に再指定(環境部長官)
洛東正脈トレッキングロード英陽区間のハーブ



○ まちづくり、善良に概念があるようにしよう

生産産業(品質中心)

心産業(価値の中心)







コッサム(花巻き)



花のチヂミ



旬の和えもの



チャプチェ



山ニンニクキムチと茹で肉



ヒーリング弁当



History

2004 田舎暮らし(人生)慶尚北道英陽郡日月面ディ路140

2007 自然環境解説士の教育課程修了(慶尚北道自然環境研修員)

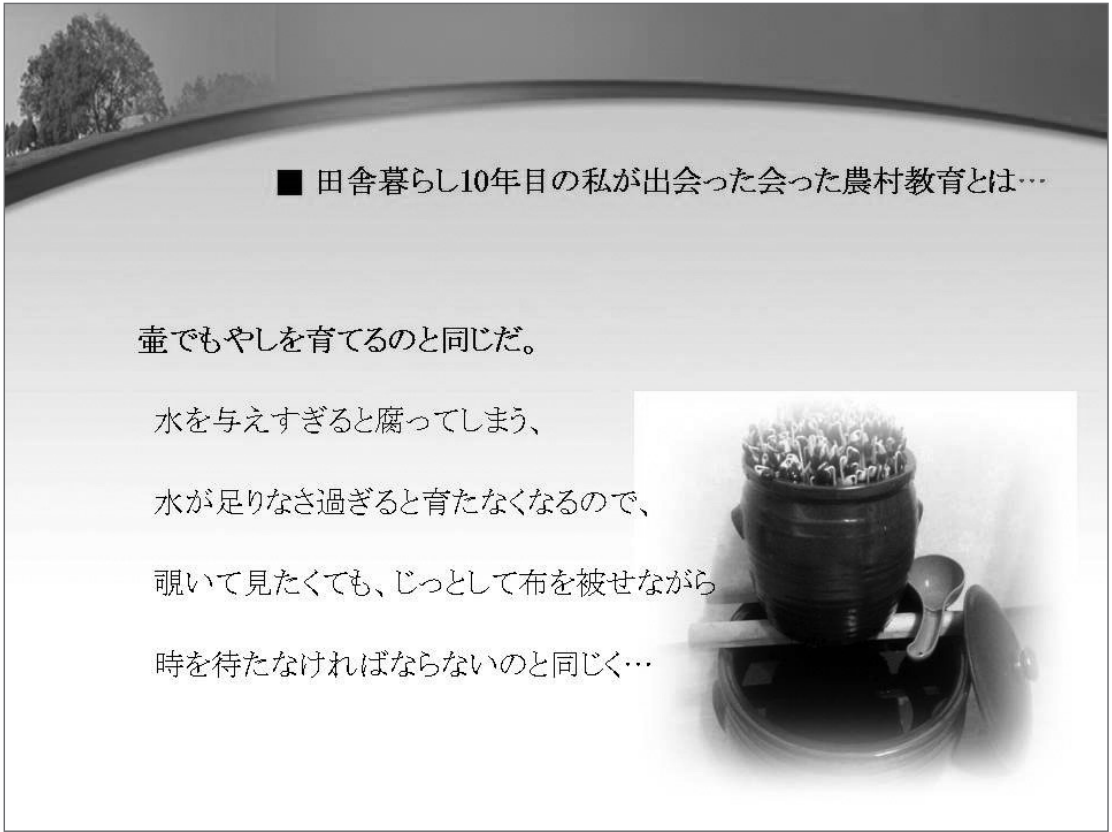
2008 エコガイドの養成課程修了(慶尚北道自然環境研修員)
緑の慶尚北道の議題21 緑の村分科委員

2010 森の解説士課程修了(山林庁)

2011 農漁村体験指導者教育課程履修
(慶尚北道、農業技術員、地域活性化センター)
伝統遊び指導者教育課程履修
(慶尚北道、農業技術員、浅井学校)

2012 プロジェクト企画課程修了(農畜産食品部、農漁村公社)
農漁村総合開発事業 日月山村圏域の基本計画の樹立

2013 韓国農村観光大学8期卒業
農漁村専門講師養成課程修了(農畜産食品部、農漁村公社)
ストーリー・マーケター課程修了予定(農畜産食品部、農漁村公社)

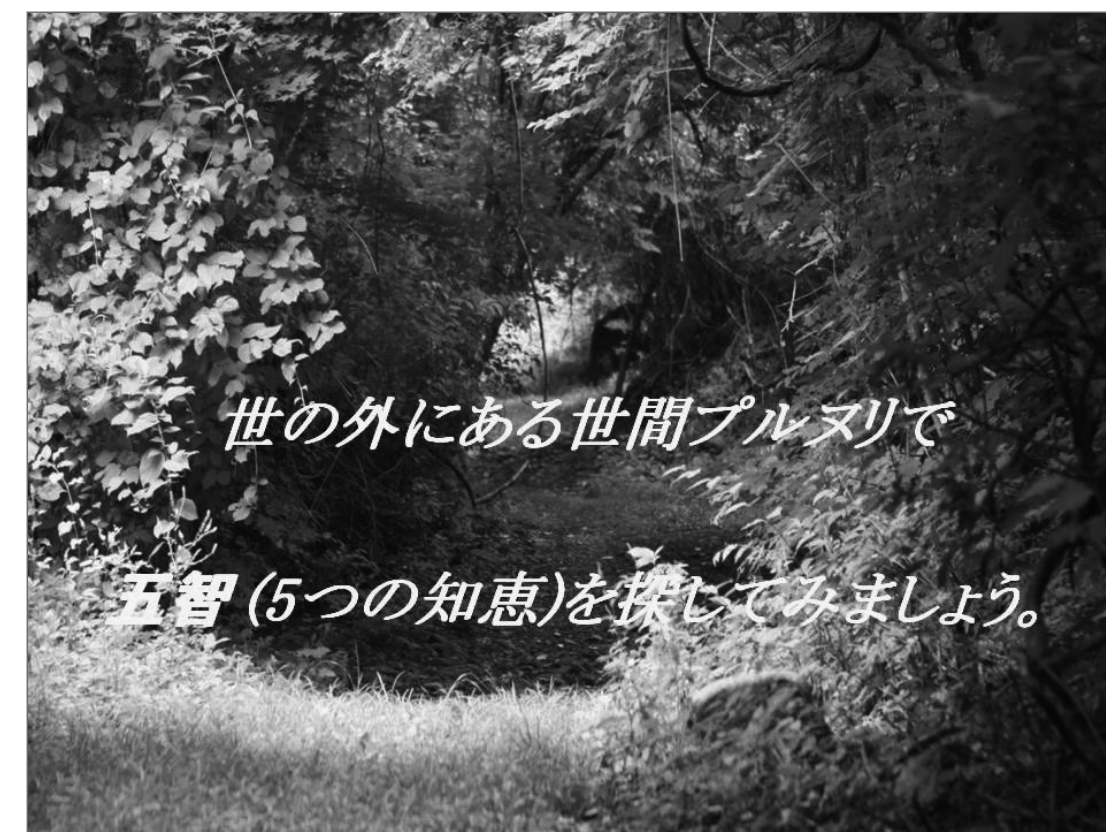


■ 田舎暮らし10年目の私が出会った会った農村教育とは…

壺でもやしを育てるのと同じだ。

水を与えすぎると腐ってしまう、
水が足りなさ過ぎると育たなくなるので、
覗いて見たくても、じっとして布を被せながら
時を待たなければならないのと同じく…





主題発表

社会的企業の成功事例 Ha, Eul Ho (韓国大田廣域市)	55
2013 京畿道協同組合の育成事業のご紹介 Nam, Jun Su (韓国京畿道)	65
ニンシャ農民協同組合の発展現況 Liu Zhijun(中国ニンシャフイ族自治区)	77
復興に春が来たので風景が目立つね-湖北福興グループ'以企帶村'の記録 Ye, jianwen (中国フベイ城)	85
コミュニティビジネスと兵庫県の事例 池上隆久(日本 淳高現)	95
アルタイ村の発展 – 農工業複合地域の成功的発展のための基礎 Zhilin Alexander (ロシア・アルタイ変更州)	105
サハ共和国(ヤクチア)ハンカラスク 部落-ネミュキュンツ・ヤクツ 自治区 Maxim Vasiliev (ロシアのサハ共和国)	109

主題発表 01

社会的企業の成功事例

Ha, Eul Ho
(韓国大田廣域市)

NEAR THE 10TH SUB-COMMITTEE ON
ECONOMY & HUMANITIES EXCHANGE



2013年 NEAR経済交流・人文分科委員会/済州島

社会的企業の成功事例



大田広域市



(予備)社会的企業の現状

区 分	計	'07年	'08年	'09年	'10年	'11年	'12年	'13年
計	107	2	5	2	17	29	36	16
社会的企業	21	2	5	2	2	7	3	
省庁型予備	2						2	
大田型予備	84				15	22	31	16

※ 社会的企業：21個のうち14個支援(終了7本), 予備の社会的企業：86個のうち49個支援
- 2007. 1. 3 社会的企業育成法制定(法施行 2007. 7. 1), 施行令 2007.6.29 制定
施行規則 2007.7.18の制定, 大田市社会的企業育成及び支援条例 2009.10.9 制定
- 地域型予備の社会的企業指定制度の導入 2010. 8月, 省庁型の予備社会的企業 2012. 1月
※ 財政支援自治団体の一本化：2010年 事業開発費, 2011年 雇用創出事業
※ 2012年予備の社会的企業 → 社会的企業の認証：共感万歳、健康カフェ、ヘミルライト



社会的企業育成政策の発展過程

背景→1997年 通貨危機, 社会サービス, 社会脆弱階層

※「失業問題」「女性の社会参加の増加と社会高齢化」「社会的な脆弱階層問題」
1998年3月の失業問題解決に向けた総合対策発表 => 公共労働事業

年度	事業名称	主管部署	主導の形
1998年	公共労働事業	雇用部、行政安全部	政府主管(行政機関)
2000年	自活事業	保健福祉部	非営利民間団体委託(国費)
2003年	社会的雇用事業	雇用労働部	民間団体や企業参加(国費)
2007年	育成法制定	雇用労働部	社会的企業(政府支援)

2



国内の社会的企業認証の現況



※ 2013.3月基準：社会的企業 801個(従事17,410人)、予備 1,258個
- 2007年50社から2012年15倍増加/大田2010年15個予備の社会的企業指定出発

4

365 社会的企業/予備の社会的企業の要件

区分	社会的企業	予備の社会的企業
法令	社会的企業育成法	条例又は規則
要件	① 組織形態	① 組織形態
	② 有給勤労者の雇用営業活動随伴	② 有給勤労者の雇用営業活動随伴
	③ 社会的目的の実現 (脆弱階層雇用、社会サービス提供など)	③ 社会的目的の実現 (脆弱階層雇用、社会サービス提供など)
	④ 利害関係者が参加する意思決定構造	該当なし
	⑤ 営業活動を通じた輸入	
	⑥ 定款の規約等を有すること	
	⑦ 配分可能な利潤の2/3以上 社会的目的のために再投資 (商法上の会社の場合)	④ 配分可能な利潤の2/3以上 社会的目的のために再投資 (必要な機関に限る)

365 大田社会的企業1社1社会的企業提携式



7

大田型予備の社会的企業の指定および発足式



6

365 大田地域社会的企業優秀事例

社会的企業が多数を占めているが

タンポポ健康社会的協同組合 社会的企業ヤベス共同体
- 2002年 韓医院で始めたタンポポの医療生協、工場人員99%ホームレス自活事業
(株)共感万歳 官邸プマシ共同体 健康カフェ 一緒
- 売上の90%地域社会還元、2004年のおばさんの物であるプマシ、障害者雇用創出



8

35th Tanpopo Health Social Cooperation Group

はい、もうわかりました ♥

医療 疎外階層向け健康検診と保健医療サービス
診療を受けるには？

屯医療機関、法洞の医療機関に

組合会員加入は？ → 社会的協同組合転換

3万ウォン出資で 一生 組合員

5万ウォン

組合員:12,000人/出資金3億6千万ウォン/2012年21億ウォン

35th 害虫退治 (株)ヘミルライト

2012年 社会的企業 → 害虫退治「ポグミ」/20億目標

役職員11人/2011年→3.07億ウォン, 2012年→4.5億ウォンの売上

脆弱階層雇用:4人/身体障害者の高齢者移住女性(ベトナム)雇用

※ アフリカ→マラリア蚊によって毎年100万人死亡(子供60万人)



35th Young Social Enterprise (株)共感万歳

2011.8 予備 → 2012 社会的企業/公正な旅

4年間 300回 3,000人余り / 4年間 売上金額 10億ウォン(2010年設立)

- 300人旅の分かち合い(フィリピン貧民地域/ソウル、大田(デジョン)、井邑疎外児童)

※ 売上純利益金:90%現地の地域社会還元10%環境団体に寄付する



13

35th 障害者のための一垣/健康カフェ

障害人が「作って」 → 障害者が「販売」

※ 障害者たちに働き口を提供する雇用と福祉 = 一石二鳥

2010 姉妹都市札幌市役所訪問/障害者が働いている健康カフェ

(設置費7,000万ウォン 賃貸料700万ウォン/月売り上げ3,000万ウォン/障害者40人)



15

35 (株)すくすく맘スクラブ[村企業]

2011.3月村企業[2年次]→2013予備の社会的企業

オンラインの会員33千人[運営陣6人]/年売上1億ウォン[2006年設立]
主なプログラム/オンライン主婦、持ちつ持たれつ共同体、ブログマーケティング
-育児用品のレンタルや賃貸事業(ドルサン,ドルボク,おもちゃ)/妊娠、出産婦プマシ概念



16

35 2013 社会的 & 村企業 博覧会

2013.6.15(土) - 16(日) → 大田(テジョン)エキスポ市民広場

○主 催: 大田広域市/安全行政部/雇用労働部
○主 管: 大田社会的企業協議会 村企業連合会
- 展示販売ブース: 170個(大田80、忠清(チュンチョン)圏及び他道90)



18

35 아파트のおばさんたちの (株)官邸プマシ共同体

近所のおばさんたちの物であるプマシ→2004出発!

町のオンラインの会員2000人/新都市13のアパート団地5万人の入居
おばさんの才能寄付: 育児プマシ腕前工房常設教育長町新聞
- 月300万ウォンの売上 / 30代40代の母親たち: 出産比率↑ 良い友達結び運動



17

社会的企業、村企業、協同組合が 経済民主化の基本です



19



主題発表 02

.....

2013 京畿道協同組合の 育成事業のご紹介

Nam, Jun Su
(韓国京畿道)

NEAR THE 10TH SUB-COMMITTEE ON
ECONOMY & HUMANITIES EXCHANGE

2013. 12. 12(木)



地域の有形・無形の資源を活用した社会的ビジネスの発掘

1

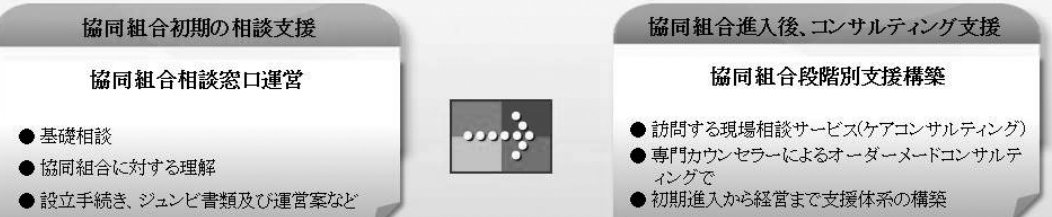
○ 2013年 京畿道協同組合の育成事業支援プログラム



4

2-1. 京畿道協同組合相談センター運営

- 目的：相談、教育、コンサルティングを連携した段階的、体系的な集中支援
- 支援方法：電話や訪問相談
- 設置場所：中企センター 1階で協同組合相談センターを運営(専門相談員 1人, 県の小商工ケアコンサルタント 13人を連携し活用)



- 主要機能 協同組合設立可能分野、運営の原理、組合加入など、オーダーメイド型相談室市
- 基本的な理解、設立手続き及び運営方法
- 設立申告書類作成などの基礎相談、登録された道内の協同組合モニタリングなど

6

2013京畿道協同組合の育成事業概要

- 事業期間：2013年 4月 ~ 2014年 2月
- 事業予算：240百万ウォン
- 主な事業内容

項目	詳細内容	秘庫
京畿道協同組合相談センター運営	- 協同組合設立の手続き - 用意する書類などの基礎相談支援	協同組合設立の相談社員 新規人材配置、常時支援
経営コンサルティングの支援	- オーダーメイド型の専門コンサルティング - 経営諮問サービス	新規協同組合20個 集中経営コンサルティング支援
協同組合教育	- 道民、市郡公務員の力量強化及び理解度を高める教育	計 10回
協同組合の週間行事 協同組合の展示会	- 京畿道協同組合ビジョンの宣言式 - ブース運営	- 6月21日, 中企センター広橋(クァンギョ)のホールやロビー運営 - 10月9日~12日, キンテックス (KINTEX)
協同組合ディレクトリ冊子の製作、配布	- 協同組合及び製品、サービス案内、 - 総合情報提供	ディレクトリ発刊 (13年 8月, 14年 1月) 4,000部
ネットワーク構築支援	- 初期段階ネットワーク基盤の構築及び活性化	懇談会など関係機関の 連携強化

5

2-1. 京畿道協同組合相談センター運営実績

- 新規設立協同組合のモニタリングを通じて意思疎通や隘路事項の管理
- 協同組合申告書類の審査及びフィードバック、相談日誌を通じた問い合わせ類型管理
- 相談件数及び相談例の類型

区分	相談		新規協同組合モニタリング
4.22~10.31	電話応対	対面(訪問)	モニタリング相談
	1,072件	102件	
合計	1,174件		615件
	1,789件(相談センター運営の勤務日基準日平均19.8件)		

区分	総合相談	申告書類	支援/資金	組合のタイプ	申告手続き	教育の問い合わせ	登記関連	基本情報	申告の現況	支援機関	合計
件数	839	119	41	35	29	32	22	23	15	19	1,174
割合	71.4%	10.1%	3.5%	3.0%	2.5%	2.7%	1.9%	2.0%	1.3%	1.6%	100%

7

2-2. 専門経営コンサルティングの支援

- コンサルティング対象: 道内の新規設立 協同組合20社
- 支援方法: 訪問コンサルティング及び随時相談支援並行を通じた経営改善診断、販路開拓等(最大7回)
- コンサルティング・プロセス



8

2-2. 専門経営コンサルティングの支援(オリーブ協同組合, 竜仁市所在)

住所(所在市郡)	竜仁市(水枝区竹田洞1328-2)	
事業分野及びアイテム	環境にやさしい有機栽培農産物の販売	
事業の現状	売上額(百万ウォン)	2013年 累計 1,100百万ウォン(10月末基準)
	職場	計7人(常勤 5人/非常勤 2人)

部門別	遂行計画	コンサルティング推進の実績
事業成果	協同組合組合員の売店の売上の活性化	- 売店別の月目標1億以上 - 創業博覧会などの展示会参加支援 - 有機栽培農産物産業分析及び中核的な成功要因を導出する
力量強化	事業組織の力量を強化するための経営診断および経営の活性化案の諮問	- 他の協同組合の運営事例案 提供 - ライバル社の調査及び経営の活性化案を諮問



展示販売活動



展示販売活動

10

2-2. 専門経営コンサルティング支援(プリンター印刷協同組合、議政府市所在)

住所(所在市郡)	京畿道議政府市西部に545、506(佳陵洞ベンチャーセンター)	
事業分野及びアイテム	●評判プリンタ販売および平板プリンター用インク販売	●プリント、賃加工
事業の現状	売上額(百万ウォン)	2013年累計 - 800万ウォン(10月末基準)
	就	計6人(常勤0人/非常勤6人)

部門別	遂行計画	コンサルティング推進の実績
事業成果	評判プリント、賃加工を通じた事業の活性化案を構築	- 協同組合ビジネス分析と市場分析 - ライバル社製品の分析とSWOT分析
力量強化	事業組織の力量を強化するための現状診断および経営の活性化案の諮問	- 力量分析用ジグザグ開発 - 経営の活性化に向けた成果指標及びガイドライン



展示会参加

研究室

9

2-3. 協同組合の教育運営

- 運営期間: 2013年3月~10月(計10回目目標の一7回運営)
- 教育対象: 道内の協同組合予備創業者、協同組合CEO、転換希望者、小商人、市郡公務員など

区分	日付	場所	参加者(名)	秘庫
1	2013.2.28(木)	中企センター R&DBセンターの大会議室	206	協同組合基本法、 設立手続き、 優秀事例、 協同組合CEO教育
2	2013.4.19(金)	中企センター 1階の広交ホール	201	
3	2013.5.24(金)	議政府市文化芸術の殿堂国際会議場	153	
4	2013.6.21(金)	中企センター 1階の広交ホール	80	
5	2013.6.26(水)	富川市役所3階の大会議室	113	
6	2013.7.17(水)	平沢市庁2階の大会議室	70	
7	2013.10.24(木)	中企センター R&DBセンター 大会議室	52	
合計			875	

11

2-3. 協同組合教育運営

教育プログラム

教育日程	教育時間	教科科目名	教育内容	秘庫
1日 (3時間)	12:50~13:00	受付やオリエンテーション		
	13:00~14:00	基本法理解	- 協同組合基本法と政策方向、理解	
	14:00~15:00	設立の手順及び創業	- 協同組合設立の手順及び創業戦略	
	15:00~17:00	協同組合の転換および準備 優秀事例	- 協同組合の類型や内外の優秀なモデル - 協同組合切り替え手順、準備事項など	

年間運営実績及び計画

区 分	地域/内容	2月	4月	5月	6月	7月	9月~10月	11月~ 14年2月
協同組合 アカデミーの運営 (計10回)	中部(本社)	○	○		○		○	
	北部地域			○				○
	西部地域				○			○
	南部地域					○		○

※ 教育日程は変更可能



12

2-5. 京畿道協同組合の週間行事運営

京畿道協同組合の広報館やオーダーメイド相談官運営

- 京畿道の新規設立協同組合の広報ZONE(中部、南部、北部、西部 地域別)設置
- 都協同組合の政策紹介、民間主体の協同組合生産品やサービスなどの事業紹介
- 協同組合の専門コンサルタントを通じた協同組合設立の問い合わせなどの現場相談支援



14

2-4. 京畿道協同組合の週間行事運営

京畿道協同組合ビジョンの宣言式開催

- 日時・場所: 2013.6.21(金), 中企センター1階の広橋(クァンギョ)のホール及びロビー
- 出席者: 道知事、京畿道議会議員、道内の協同組合、関係機関など400人余り
- 推進内容: 京畿道協同組合ブース運営(12社19ブース) 現場販売125件5.2百万ウォン
協同組合ビジョンの宣言式(都⇄京畿大学、江南大学、ソヨン大学、新興大学、
長安大学、ハンギョン大学など6つの大学)

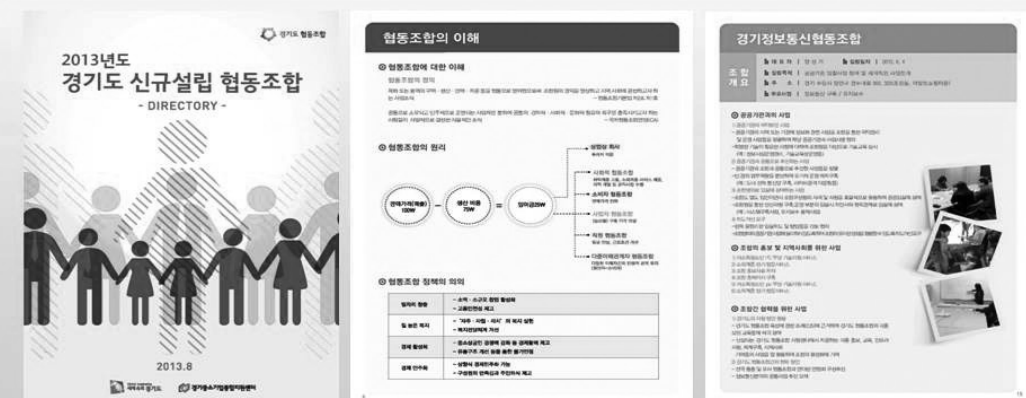


13

2-5. 京畿道協同組合の広報

京畿道協同組合の週間行事運営

- 発行時期や数量: 2013年 8月, 2014年 1月(2回), 4,000部
- 収録内容: 道内の新規設立協同組合の商品やサービス紹介、圏域別協同組合のリスト等



15

2-6. 京畿道協同組合のネットワーク支援

協同組合の地域資源の連携強化

- 京畿道協同組合の諮問懇談会開催(5.16), 中間報告会の開催(9.9)
- 京畿道議会の経済科学技術委員会の チョン・サンスン, チョ・グワンジュ議員
- 従来の協同組合, 新規協同組合の代表, 関連機関の専門家など34人が出席

京畿道協同組合 諮問団・ガバナンス運営

協同組合

民間団体

公共機関、学界

社会的企業、村企業、協議会など



道内の協同組合 関連機関, 協議会, 大学協力・ネットワークを通じた 現場密着型支援

16

2. 今後の推進計画



18

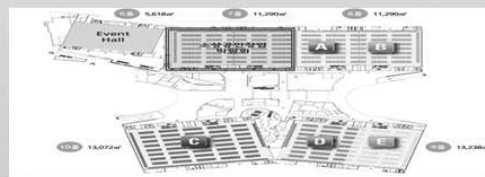
2-7. 京畿道協同組合生産品展示会運営

展示概要

- 展示期間 : 2013. 10. 9(水)~ 12(土), 4日間
- 展示場所や規模 : キンテックス第2展示場7ホール 京畿道協同組合展示館, 30ブース運営

推進方向

- 多重集合場所である2013G-FAIR 大韓民国小商人・創業博覧会に京畿道協同組合の展示館に参加
- 展示ブース, 協同組合現場合わせ相談官, 案内パネル設置などの展示運営の多様化
- G-FAIR広報と連携して協同組合生産品の販路開拓を支援, 道民の関心と参与拡大を誘導



17

3-1. 京畿道協同組合ネットワーク支援の強化

協同組合の主体別連携



19

3-2. 事業性と自己評価計画

満足度調査を通じた事業評価



20

主題発表 03

ニンシャ農民協同組合の 発展現況

Liu Zhijun (中国ニンシャファイ族自治区)

ありがとうございます



ニンシャ農民協同組合の 発展現況

Liu Zhijun
(中国ニンシャフイ族自治区)

最近、ニンシャ自治区の各農経部署では、‘発展と規範の同時推進’という路線に合わせ、現地農業の主導産業の発展と農家所得増大の必要を中心として 農民協同組合の発展を促進し、ニンシャ自治区の農民協同組合が制度的により改善されて収益連携メカニズムを絶えず改革する駸駸たる発展の態勢がみられます。

1. 基本現況

2013年 6月末までの統計によると、全自治区内のあらゆる部類の農民協同組合が3152ヶ所、組合員が20.8万人として、非組合員55万人を先導しております。

これは、其々の農民合計の19.6%と51.9%に至ります。あらゆる 農民協同組合は、ニンシャ自治区の諸般なる農業の特徴や優位産業および農村サービスの領域を引き受けることで農業の構造調停と農民市場への侵入を推進して農業産業化の経営を発展させました。それで農業効果と農民所得の増大において重要な牽引車の役割を果たすことで、ニンシャ自治区農業と農村経済の発展を促進する力の中で一つになりました。それには、次のような特徴が見られております。

1) 協同組合の発展においては、早い成長の傾向が見られております。 国家政策の支持で農民協同組合は、農業農村経済と市場発展の要求に応じて 数量的な優位から始めて、漸進的な規範化を通じて早く発展しました。 農民協同組合は、2010年度の1827ヶ所から2013年6月には3152ヶ所に、1325個が増加しており、その増加率は72.5%になります。組合員数も20.8万人で 2010年に比べ 5.1万人なり32.5%が増加しました。中でも、農民組合員数が20.5万名で全体組合員数の98.5%以上を占めていて、55万の農家を導いております。

2) 栽植農業と牧畜業を中心とした中堅産業の発展が優位を占めています。3152ヶ所の農民協同組合の中で栽植農業が1248ヶ所になり、総数の39.6%, 牧畜業が1121ヶ所で 35.6%, 林業が 285ヶ所で9.0%, 漁業が 52ヶ所で 1.6%, サービス業が 268ヶ所で 8.5% (農機械サービスが192ヶ所で、サービス業の 67.4%, 総数の6.1%), その他が180ヶ所で 5.7%になります。全自治区の農民所得増大の中堅産業になる栽植農業と牧畜業は発展の目立つ傾向が見られ、両部類の協同組合数の増加が総数の75.2%を占めております。

3) 農民を主体とし、農民の意見を尊重しております。農村人材、農村集団、個人業主、会社、企業、科学技術院など、多くの発展の主体らの中でも農民を主な主体にします。3152ヶ所の協同組合の中で農民が設立したのは 2961ヶ所で協同組合数の93.9%になり、企業が設立したのは73ヶ所で総数の2.3%、既属農業技術サービス組織が設立したのは40ヶ所で1.3%, 社会团体および その他で設立したのが78ヶ所で 2.5%を占めております。 協力方式としては資本協力、土地協力、生産協力等がありまして、収益分配の方式としては 利潤分配制、リベート、増資、現金受領などになります。

4) 規範的運営と指導力の強化であります。農民協同組合は ‘農民専門協同組合法’と ‘農民専門協同登録管理条例’に基づいて工商行政管理部门にて 登録してから農経部門にて受付を行い商工・農経部門での監督管理の下で運営される事となり定款、制度、機構人力の専門化、運行制度化、管理規範化が 基本的に具備されております。最近まで農経部門の認証を通じて商工部門に 登録した協同組合は3026ヶ所で、総数の96%を占めており、農業主管部門が示範組合として認定された組合は500ヶ所余りで総数の16%になっております。

5) 一体化サービス能力の強化であります。協同組合は普遍的に 組合員達に統一された種子・種苗の供給、 統一された栽培・飼育標準、統一された生産資料の供給、統一された技術規則、統一された技術サービス、統一された ブランド包装、統一された価格販売、統一された収益分配など、‘X統一’サービスを実施することで農民らの組織化水準と市場競争力を大きく高めました。 3152ヶ所の協同組合の中、農産品の統一販売が80%以上の 組合は630ヶ所、加工工場を設立した組合は315ヶ所、信用協力と会員間の資金協力に参与した組合は315ヶ所に至ります。

6) 統一組織、サービス能力のあらたかな向上であります。協同組合は ‘注文型農業’, ブランド化販売、科学技術情報サービスやローン等の方式で 全体農民数の51.9%になる55万人を率いており、約60%の農産品が組合を通じて販売され、年間販売額になる100億元の中で組合直接の販売額は50億元 以上で 6億余り元の 利潤を創出して、農民達に4億余りの元をリベートすることで組合員の所得は非組合員よりも 300元以上も上回っていました。

7) 収益連携メカニズムを利用した協同組合の効率的な確報することあります。2012年 2787ヶ所の協同組合の中で、積立金、公益金、危険準備金を保有している組合が650ヶ所で全体組合の23.3を占めており、配当可能な剰余金を引き取り件数によって組合員に返還する組合が903ヶ所で、総数の 32.4%を占めていて、その中の配当剰余金を60%以上返還する組合は 700ヶ所で 77.5%になっております。

8) 専門的な育成事業の展開を通じての管理人力の素質向上であります。 ニンシャ自治区農民協同組合の健康な発展、規範化の運営、効率増大の促進のために協同組合担当者達の管理水準と運営能力を向上させております。最近 5年の間、自治区農経先では、‘陽光プロジェクト’と ‘協同組合規範化建設’を結合し育成事業を展開していて、毎年には全区 5ヶ所の大都市、 22県(市、区)の各級、規範化 協同組合の 理事長、財務人力および中心となる組合員を対象に100回余りの法律知識、協同組合の規範化、建設、会計の基礎知識、農産品の品質安全に関する知識教育を実施しております。2012年前に全区の 2787ヶ所の協同組合24.1万人に教育を実施して、組合あたり平均 86.5人が教育を受けました。

2. 農民協同組合の主なる方針と発展

1) 政府の支援を基に発展を推進することです。最近、中央から地方に至るまで、農民協同組合組織に対し一連の支援政策を提示して、協同組合に対し支援幅を不断に拡大し続けて農民協同組合の発展を大きく推進しました。2011年 1459.5万元だった各級財政専門支援金の総額は、2012年には1926.5万元に増え、2013年自治区は農業特色優位産業の発展資金の中で 600万元を示範農民協同組合の設立活動の支援金に回し、統一新品種の導入、生産資料の購買、生産技術の補給、病虫害の予防、商品段階別の包装、買入れと買出し等のサービスに対する審査と研修を行ってから自治区級協同組合として確定されると該当組合に一括払いで 10万元を支援しております。

2) 大々的な宣伝で発展を誘導することです。

‘農民専門協同組合法’、‘農民専門協同組合の登録条例’、‘農民専門協同組合の税金減免政策’、‘農民専門協同組合の示範定款’など、一連の法律法規と自治区関連政策の公布により、各地域では‘宣伝の月’活動を実施してプランカード設置、宣伝標語の付着、宣伝資料の配布、特集番組放送、主題解説講座開設など、様々な形式の処置を通じて国家政策と法律法規を広報することで農民協同組合発展におけるの良好な社会基盤、世論基盤、群衆基盤を造成し、ニンシャ自治区農民協同組合の素早く規範化された発展を果たしております。

3) モデルを利用して発展を導くことです。農民専門協同組合の発展と運営をより規範化するためにニンシャ‘農民専門農民協同組合の示範組合設立標準’と‘ニンシャ農民専門協同組合規範’に従って、農民協同組合を最初になる設立から規範化された運営で発展して行けるように導いております。各地域は定款作成と制度構築、内部管理、生産経営、組合員サービス、収益配当等において規範化された管理を施行しております。示範協同組合の育成と発展に主力してモデルや見本を樹立することで牽引車の役割を十分に果たしました。しかも、協同組合の利益連携メカニズムと利益配分メカニズム構築を強化しました。積極的な指導を通じて協同組合の利益連携メカニズムと民主管理制度の改善、内部運営メカニズムの完備、サービス機能強化を助けています。2012年末までに、全自治区にて性急示範協同組合 186ヶ所を育成しまして、その中で101ヶ所が国家12箇部および委員会から国次元の示範協同組合として認定され 8ヶ所が全国優秀示範協同組合として農業部から表彰されました。335ヶ所の協同組合が‘3品1表(無公害農産品、緑色食品、有機農産品と商品原産地の表記)’認証を通過しまして、238ヶ所が知識財産権のあるブランドを持っております。

4) サービス強化で発展を促進することです。最近、各地域の農民協同組合は、中国の東西部の協力および投資貿易相談会、中・アラブ経済貿易フォーラム、中国回族ビジネスフォーラム等の大規模のビジネスフォーラムに参席するように、積極的な弘報と推薦活動を展開しております。

また、協同組合の責任者を先発してサンシ、ホウナン、アンファイ等の地域へ派遣して考察し、教育を受けさせて外部の先進経験と方法らを学習して導入するようにしております。‘陽光プロジェクト’、‘新型農民育成プロジェクト’と結合して人材教育を強化しており、技術人力を先発して協同組合へ派遣する事で、技術諮問、業務指導を担当して、実際に問題解決を助けております。それから、農業情報ネットワークを通じて協同組合へ市場と技術などの情報サービスを提供して協同組合が定款を改善して制度が完備出来るように指導して、漸進的に規範化された発展レールに立ち上がろうとしております。積極的に金融部門と交渉して、協同組合の資金調達問題を解決できる政策と措置を摸索している中であって、民間資源の統合、向進銀行の設立、少額貸出機関、農民資金共済協同組合、多次元・多元化の新型農村金融機構の育成をつうじて協同組合の資金調達の難しい問題を効率的に解決することで、協同組合の規範化された高速発展を促進しております。ニンシャ・タイシン農村資金管理会社は、2013年 インチャン市 38ヶ所の協同組合に 1650万元の貸出しまして、ダウクォウ・スイン村進銀行は、すでに23ヶ所の協同組合に累計 3700万 元の貸出しました。その中、2013年には13ヶ所の協同組合に約1100 万元を貸出し、農民協同組合の発展を大きく促進しました。

3. 成果現況

1) 農民組織化の水準を向上させて農産品の品質安全の統制可能性を実現しました。農民協同組合の発展は農村で分散経営をしている農民達が結成して、市場情報や市場需要に従って計画的に生産品種と数量を決め、計画的な買出と買入が可能になるようにして、多くの農民達の生産と急変する市場が効率的にドッキングを実現すると同時に、農業保険に参加させて、農民達が情報、資本、生産規模、貯蔵と運送手段等のあらゆる要因からの制約を受ける状況を改善する事で、危険と利益をとにもする利益連携体制を形成し、農民達が自然と市場という大きい危険に対して、抵抗と予防できる能力を向上させました。また、協力機構は内部の自律的なメカニズムを利用して会員の行為を規範化し、標準化生産を推進しながら農産品の安全技術規定を制定する事で生産過程から始め、農業生産資料の使用を統制しております。農産品の有機、緑色、無公害認証を実施して、農産品の品質追撃制度を構築していますし、農産品の商標登録を申し込んで 地方の特色ある地域ブランドを育成することによって、商品の知名度と付加価値を向上させて市場競争力を効率的に向上させました。例えば、インチャン市 ホウファイ加金農民専門協同組合は、卵洗いバーコーディン・マシンを設置して自家生産した卵と、組合員から買入れたものを差数を分けてバーコーディンして、消費者が卵の品質異常で申告したり品質検査部門で問題を発見した時に、卵のバーコードに 根拠において問題の卵がいつ、誰から買入れた物なのかを速やかに判断し、すべての商品を回収してから、生産者の責任を問うことで組合員の資格を取り消しております。

2) 土地の規模化経営を推進しました。農民協同組合は組合員の土地を集結して 統一的企画、統一的な経営で土地の問題を解決し、資源の最適化組合を実現することで、土地の規模化経営、新品種の導入と新技術の補給、農業の機械化作業において有利であるようにして、生産原価を下げて土地の算出率と労働生産率を向上することで、農業産業の構造調整を推進し、優位農産品区域配置の形成と特色優位農業の発展を加速化するようになりました。例えば、ホラン県スチャン養殖生産、販売 専門協同組合など 3ヶ所の協同組合は 2013年, リガンジンランガン村で、耕作地 5200苗(1苗は666.67m2)に「ランガン村苗田畑のカニ養殖と稲栽培の現代化生産示範区域」プロジェクトを実施しましたし、協同組合は稲機械化栽培技術、総合病虫害の予防技術、優良品種と稲、カニ立体生態養殖と 栽培方式などを導入して、1苗当たり 稲 500kg , カニ 20kg を生産して 1苗当たりの収益 3000元を創出しました。

3) 特色優位産業の発展を推進しました。ニンシャ自治区の13ヶ所の特色ある優位産業には、協同組合が全部参与している他にも、牽引車の役割を果たして特色優位産業の急激な成長を推進しております。ユンニン県のドンヤン果菜類、ショウラン果物業、テンテンセンなどの果物専門協同組合は、ユンニンに投資して果物生産団地を設立してから、ユンニン県の園芸面積は、2005年末に 4845苗だったのが現在は10万苗に増えました。

それから、 リトウン区のテンルウィ、シェフ、フノンナ等牛乳専門協同組合は、大規模の放牧発展を目指して、ウチュン市の新設大規模の牧場 52ヶ所を導いております。フンスボグイヌン漢方薬材専門協同組合は、周辺の約1000ヶ所の農家を率いて約3000苗に漢方薬材を栽培しています。イエインチ県ファンウィ羊牧専門協同組合は毎年、羊 4万余りを販売し、周辺の 300世帯の農家が 7万余りの羊を放牧しております。トオンシン 県 テンチさつま芋専門協同組合は毎年、さつま芋 50万トン以上を买入して、トオンシン県 さつま芋産業の発展を導いていて、チントオンシャ・ファビャウ施設の園芸果物専門協同組合の販売せんたー設立で、イエソジン葡萄村は、耕作地の面積が3000苗を突破しました。

4) 農業 新技術と新品種の補給と応用を促進しました。農民協同組合は、普遍的には 技術補給、技術教育、技術改善を大事にして、自体の高度組織化の水準に根拠し、適時に 組合員へ漸進的で実用である農業技術、優良種子、サービスなどの情報を提供し、他にも技術教育と指導を強化して産業発展の水準を向上し、科学技術の成果の転換と応用を促進しました。 ホラン県フンランジンモウ果菜類専門協同組合は、建設面積6600苗の規模で専門技術人力 4名を招待して、まず新種子 42種類を導入しまして、6種類の新技术を4120苗の耕作地に補給し、農民達の所得の累計増加は、 125万元に上りました。それから、リトウン区大風水専門協同組合と西北農林業科学技術大学、ニンシャ大学は、長期的技術支援協力関係を結んで、山東ソウガンの専門家を技術顧問として招待してあらゆる品種のセット栽培方式を模索しております。チントオンシャ市ジャンガン野菜専門協同組合は、口土施肥、滴灌微灌、無土栽培などの技術を補給しました。リトウン区ウィミン牛乳専門協同組合は、牛乳スマート管理システムを導入してフィットライナー評価を実施してから牛乳の年間単位当たりの生産量は1500kgも 向上されました。 ユンリャン牛乳専門協同組合は大型メタンガス施設を設立して、牛糞に無害化処理をすることで生態純化養殖を実現しました。

5) 農民のためのサービスのもっとも効率的パラダイムを作り上げました。協同組合は発展の中で住民の願いを具現し、現実符合する住民達の知恵を十分にたくわえて、現地にては新しい経営、管理、サービスモデルを作り出して漸進的に補給させました。それと同時に、 ‘3農’ サービスの領域を拡大することで農家自体にては解決できない、既層組織では通じなくて、 政府部門では負えない事を解決しました。リツン区イウワンのぶどう栽培協同組合は、いろんな部類の書籍を購入して‘葡萄書院’を設立し、住民達の学習や閲覧において便利さを提供しまして、フリボ区食農野菜専門協同組合は ‘多家口の連帯保証, 協同組合担保’ の方式を使用し、農民のために約 200万元の貸出を解決して上げました。チントオンシャ市ニンチュン香米専門協同組合は、‘糧食銀行’ を設立して ‘価格下落時に最低線保障, 価格上昇時に正常価格’ という原則の下で、 糧食を貯蓄して組合員の利益を保障しました。トオンシン県の食農野菜専門協同組合は栽培団地をうまく運営すると同時に村並みの果物、野菜おろし市場を設立し、現地販売を実現しました。イエンチ県ウィヌンさつま芋専門協同組合は、いろんな専門協同組合を連携して、共同運送事務室を設立してから鉄道と道路を利用して広州、上海、深湛などの地域へさつま芋を運送しました。

6) 農民達の所得を増大させました。協同組合の統一生産標準、ブランド建設、段階別包装、統一販売は、ある面では農産品の品質と販売価格を向上させて市場競争力と占有率を向上させました。 一方では生産管理原価をさげて、協同組合の経営収益と 組合員 の収益を増加させました。リトウン区チンハイ施設農業専門協同組合の場合、2012年の純収益は 26万元、 組合員の平均純収益は15000 元で、フンウィボウ区ルイファン葡萄産業専門協同組合の2012年の純収益は約100 万元になり、 組合員の平均純収益は3倍も増加しまして、チントウンシャ市ファイファンウィエン農機械専門協同組合は、土地2600苗を投資して全自治区にて、最大規模の有機農米生産団地と機械化示範区を設立して、農民達は労働と耕作地の運営で500元以上も所得が増えました。トウンシン県にあるチヌン果物、野菜専門協同組合の純収益は153万元に至り、組合員の平均収益は 6334元が増加したのと同時に、 生態移民村の勤労者の賃金は 約260万元、土地賃貸料になる約90万元を払いました。イエンチ県 ウィエン・ウィエンファン羊飼育専門協同組合は価格保護体制を設立して、組合員の羊であれば 1kg当たりの市場価格よりも0.5元高い価格で購買することで、飼育農家では羊一匹当たりに約100元の純収益が 増加し、スズイサン市の2012年度の農民専門協同組合の農民達の年間所得は非組合員に比べ 621元 も高くありました。

4. 現存する問題点

農民協同組合は漸進的に模索、改善、 向上している新興経済運営モデルとして強い生命力と後発優位を持っていて、成長も早くて発展も速やかであります。多くの至急な調停と解決を要する 問題点らを見せております。

1) 基準は高くありません。最近の数年間、新たに登録する協同組合の数は急激に増えておりますが、‘ホットな発展’に対して我らの‘クールな思考’が必要されています。多くの農民協同組合は小型企業や個人企業が転換したもので、名前は変わっても運営方式は変わってないままで、あるいは新しく登録した組合でも協同組合の基準にまったく符合されない、営利だけが目的であって、協同組合が一つの共済型経済組織として農民のために服務せざるべきである責任を忘却しております。

2) 管理不良であります。定款が形式だけで存在し、民主決定がちゃんとならないと財務管理が規範的でないのはもちろん、家族管理を実施していて標準化、規範化の生産に適応できず、農産品の品質管理がしっかりとならない事より安全上の問題までも存在しております。

3) 人材不足であります。農民協同組合は基盤が不良で、業務やの生活与件が悪くて職員達の賃金水準も低く、高齢人力が普遍的であって、若い技術陣と管理人力の長期勤務が不可になり、人材不足現況が深刻であります。

4) 資金調達が困難であります。協同組合の主な構成員は農民である訳で投資、融資能力が限られております。銀行では施設、設備、土地などの固定資産を担保としては貸し出しをしていないので、貸出経路や方式においても限りがあります。農民協同組合は農水産物生産加工を主にしているので、利潤が少なく資本の蓄積が遅れることで、持続可能な発展においての資金の圧力は大きい訳であります。

5. 建議事項

1) 工業と商業、農業と牧畜業部門で農民協同組合の登録、申告に対する実質的な審議を強化し、年1回の定期検査、統計報告書、抹消など、制度を実施することで漸進的に‘空っぽ’協同組合を除去することを建議いたします。また、協同組合の法人教育を強化して定款に従って仕事を処理するようにし、協同組合の共済能力を高めないとなりません。協同組合の育成に力を注ぎ、分類、分級管理を実施して、国と自治区が示範協同組合に対して重点的に支持して、優先として発展させてくれる事を建議いたします。

2) 国家と自治区が農民協同組合の発展を支持してくれるよう建議いたします。現在、農民協同組合は量的基盤を樹立して、成長期に経って規範化の時期に入りました。そして、内部管理をしきりに強化すると同時に、規模が小さくて管理能力が不足で組員数の少ない協同組合に対しては、再編成や同じ部類の合併と異なる部類の連合もしくは引き受けをお進めいたします。農民協同組合の農産品に対する品質管理を強化し標準化生産を実施して、無公害、緑色、有機認証制度を大幅に行って品質管理の体制を改善することで優位ブランドを創出するべきであります。

4)既層の農業技術補給部門、科学研究所、大学校および農業産業化の先頭企業を積極的に導いて、農民協同組合へ技術、情報方面などのサービスを高めないとなりません。また、国家と自治区が政策の面で科学技術人力らが協同組合にて勤務ことを奨励し、既存の技術人力に対する待遇を改善して、協同組合にて支援できるようにしたり、社会にて優秀な大学生を先発して協同組合で働くようになった場合に、国家からの一定な補助金の支援を申し立てます。

4)国家と自治区にて、農民協同組合の政策、資金、プロジェクト支援を拡大し、協同組合の融資調達においての特恵政策を実施して、組合が直面した資金調達の苦情を解決することを申し立てます。

主題発表 04

復興に春が来たので風景が目立つね -湖北福興グループ‘以企带村’の記録

Ye, jianwen (中国フベイ城)

復興に春が来たので風景が目立つね -湖北福興グループ‘以企帶村’の記録

Ye, jianwen
(中国フベイ城)

尊敬するキムジェヒョ事務総長の、貴賓皆さん、

済州島は中国人たちが最も好きな観光地です。韓国朝鮮日報の中国語版の報道によると、2013年5月まで、済州島を訪れた外国観光客は51.9万人で、そのうち、中国人観光客は36.1万人、外国人観光客は全体数の7%を占めております。このように中国人の夢の都市、美しい済州でNEARの会員団体代表団、皆さんと一緒に集まって我々の共通関心事について議論できるようになったことを大変嬉しく思っております。

前に発表した中国寧夏のリウ所長は中国農村事業分野の専門家です。彼は専門家の立場から中国寧夏の農村協同組合の発展事例で、中国の農民、農村や農業の発展の状況を紹介しておりますが私は、引き続き、非専門家の見方で、中国湖北省の向進企業発展の事例を紹介したいと思います。

湖北紹介

‘村の中の都市’という称号を持っている農民らの新都市がハンチュワン市チョンフジン復興村平野に姿を現しました。広くてきれいな道路、規則的で画一的な工場の建物、地味ながらも古風な住民マンション、富裕な文明村、調和のとれた人間関係などが集まって中国新農村の一幅の生動感の溢れる風景を描いています。湖北復興村はとても平凡な辺鄙な農村で全国新農村のモデル村に発展した町です。

1. ‘以企帶村’方針として設立された背景と原因

復興村はハンチュワン市チョンフジン西北部に位置しており、耕作地2748名(1名=666.67m²)、管轄区域内に13ヶ所村民小組、総人口は3753人です。武漢市で98km離れていて、チョンフジン政府庁舎とも数キロメートル離れており、村の東部と村の南側が漢江によって隔てられていて地理的にもとてもよくない位置にあります。歴史の中の天候は4面が泥沼で10年に9年は水につかっていた。‘という言葉があるほど特別な資源があった訳でもありません。

湖北福興グループの前身はドンジア村9条の農民タングンイエンが1981年に設立した鉄と木材の加工工場でした。1996年、‘二つの溶鉱炉、3間の攻防、4つのハンマー’としてスタートしたこの家庭攻防企業は事業領域絶え間ない拡張で湖北ハンチュワン・ワイヤケーブル有限会社に発展しました。1999年、会社は深銭センA株に上場後、金属製品だけを主にするという‘1業為主(一業為主)’戦略と金属製品、不動産、生物薬業など3つの事業を併行するという‘3業並重’という発展戦略を実施して湖北復興科学技術グループを設立して驚くべき速さで発展して現在の傘下に湖北復興科学技術有限会社、ウハンフウィイ不動産など二つの上場会社及び子会社を持っていて勤務しているスタッフも7000人であり、資産総額は36億元、純資産は17億元に達します。2005年、この会社は販売収益30億元を達成しており、利潤と税金3.9億元と、史上最高の成績を記録しました。企業が村を導くという‘以企帶村’方針とは、1996年12月にハンチュワン市ワイヤケーブル株式有限会社の総経理を歴任していたタングンイエンが出したことです。ハンチュワン市委員会、市政府がトレンドに歩調を合わせて動いて基層役員たちと農民たちの意見を求めるなど、行動は、農村経済発展を促進する新たな発想であり農村の都市化を加速化と都市と農村の一体化を建設する新しい経路だと思えます。

2. ‘以企帶村’方針の運営のメカニズムと主要内容

チョンフジンと復興グループは復興村管理の責任と権利を分ける事において、下記のように合意を達成しました:企業に村を導くというのは決して企業が村を代わりにするという意味ではありません、先導するのであって、代替するものではありません。復興グループは経済と文化を率いてチョンフジン政府は政治と行政を管理します。‘以企帶村’の運営方針は‘一つの機構、二つのメカニズム’に定義することができます。一つの機構とは、チョンフジンの‘以企帶村’指導小組であり、チョンフジン、復興グループと村の主要責任者で構成されました。チョンフシ、党指導部の指導の下に毎年2回以上の連合会議が開催され事業計画、具体措置研究、事業のうちに現れた葛藤と問題解決などに草案を作成することによって機構と指導を効率的に強化します。二つのメカニズムとは、相互作用するメカニズムです。、文書の形式で具体的な企業と村の双方の責任と義務を規定します。協調メカニズムとしてのチョンフジン政府関連部門、復興グループ当為事務処、プロジェクト管理部、村委員会などの機構は定期的な交渉を通じて、‘以企帶村’の効率的な運営を責任を負うようになります。彼らは‘以企帶村’の内容について次のように定義します:企業の総合的な先導優位を発揮し、村や企業間に組織的で定期的である緊密な連絡網を構築して 人材、管理、情報、技術、資金、土地の労働力など生産要素の配分を最適化して‘工人が農民を食べさせて、実力のある農民が企業の基盤となる村と企業がウィンウィンする。’という目標に到達することです。さらに、‘以企帶村’の主要内容を提示し、すぐ企業の‘5町村’や村の‘3為’です。

1) 項目町村-プロジェクトの到来:府大企業を発展させて村級企業の発展を支援することにより、集団経済実力を向上することです。復興グループは独自の長所を生かして産業の変更を通じて復興村とリファ村支援のための溝切り工場、プラスチック製品有限会社、金属構造物加工工場など30個の工業企業を設立して復興グループのために部品を生産するようにしました。この企業は復興グループの指導と助力のもとに現代化企業制度を全面的に推進して技術改善に取り組み、企業の規模を絶えず拡大して商品の科学技術の含有量を日増しに向上させました。現在、すでに3つの企業が規模以上の工業企業へと発展し、生産額は年平均40%の大幅に増加しています。

2) 主役町村町村-人材の到来

農村が裕福になれるかどうかは支部にかかっています。彼らは企業が推薦して町が選択する‘キチュヨンソン’の方式を採用して、人材の選択と雇用経路は広げることで、復興村の幹部選択は難しく、育成しがたくて残りづらいほど厳しかった問題を解決しました。復興グループ党委員会は前後に経営を知ってをうまく管理している復興村住民兼会社の販売部署の南方管理部タンイエリャン部長とリファクション住民兼会社1工場の副工場長リジンウォン、そして1工場技術課の課長ウチウンを説得して役員の交代選挙に参加するようにして、ともに高い得票率で当選になりました。復興グループ党委員会は前後に経営を知ってをうまく管理している復興村住民兼会社の販売部署南方管理部タンイエリャン部長とリファクション住民兼会社1工場副工場長リジンウォン、そして1工場技術と誇張内雄図を説得して役員の交代選挙に参加するようにしてともに高い得票率で当選となりました。タンイエリャンは2000年2月から復興村党委書記を担当した以来、綱紀が弛緩した指導部を再整理して村の指導部の政策執行、主人の先導、発電の推進、安定の維持能力を向上させて、いくつかの目標と課題の円満な成功のために組織化になった保障を提供しました。これで村の200万円の債務を解決して相当な金額を貯金したりしました。最近になって、この町は前後に、湖北省‘向進企業市示範区’、ショガンシ‘10江村’、ハンチュワンシ‘先進基層党組織’という称号の栄誉を与えられました。タンイエリャン個人もまた、前後に5回にわたってグループ大償を受け、2002年には‘ハンチュワンシ10代の主要幹部’として選抜されました。

3) 文化町村-文化の到来:農民たちの余暇生活を多彩にするため、復興グループはすでに9年前に衛星紙面システムを構築し、ケーブルTVを家ごとに連結するプロジェクトを実施することで、復興村をハンチュワンシで一番最初にケーブルTV 視聴が可能な地域に作ってくれました。2003年、全村においての電話機普及率は95%に達し、超高速インターネット、無線通信ネットワークが前の村に構築されました。村5000冊余りの本を所蔵する図書館と500万元を投資して4000人収容可能な復興劇場を建てました。毎年正月、旧正月、‘5.1’、‘10.1’、‘9.9’には慣例により城内外劇団を招待して劇場で公演をしています。また、20人の団員で構成された専門演劇団を設立して毎年復興劇場で100回の公演をしており、復興村とリファクション住民たちは無料で観覧することができます。

4) 福祉町村-福祉の到来:第一は復興村の範囲内のすべての老人たちを復興グループの社会福祉の対象としています。男子は60歳、女子は55歳以上の住民たちは毎年600元-2000元的生活補助金を受けることができます。土地は、農民たちの生命線です。復興グループは毎回の土地を購入するときは厳格に政策によって農民たちに補償をしてくれました。最近、また、土地‘追加補償’を進め、農民たちの企業の発展に対する支持に応えています。土地購入日から始まり、農民たちは一括払いで毎年1苗当たり400元の土地補償金を受けることだけに、復興グループは約500万元を使いました。2006年から、1苗当たりの土地補償金を1000元に引き上げました。二番目は住民優先雇用政策です。男子は満18歳、女子は満20歳の住民たちに対しては同じ条件下で優先採用を実施します。また、彼らは復興グループで、医療保険、住宅補助、子供の学資金支援、退職養老保険など様々な福祉待遇を受けられ、このうち、共働きの家庭は家の購入補助金2万元、子供の小学校から大学までの学資金を300から10000元まで支援を受けることができます。第三は60万元を投資して復興シルバータウンを設立して1車に60人余りの住民を配分しました。シルバー住宅には家具、TV、ビデオプレーヤー、VCDが用意されています。毎月150人民元の基本生活費の他にも旧正月には、一人ずつに魚や肉10kgと700元の小遣いもあげています。

5) 資金町村と資金の到来:復興グループは‘以企带村’課程の中で農業生産の発展と農業投資に注目しており、農民を保護して支援し、強化する措置を積極的に取り込んでいます。リファクション既存の耕作地の面積は540苗で野菜、稲、綿花栽培を主としており、村の負債が187万元に達していました。昨年に‘以企带村’方針を実施した後、復興グループは群衆の声が一番高い問題から着手して90万円の資金をリファクション 農耕地の水利施設建設に使用しました。2000mの幸福の水路を浚渫して二つの 2300mに達する新しい灌漑施設を開削、140の農耕地を改善し、長さ250m、広さ15mの橋をかけて一つの水門を建設して災害救助、災害の減少能力を大きく向上しました。

‘木陰を借りて大きな木を保護します’。復興グループとの相互作用と連結において復興村は‘3到位’を積極的に実施しました。

1) 統一思考の認識の水準到達(到位)。第一は適時に復興グループの‘以企带村’方針の重大な策略、措置、事業の要求を農民たちに伝え、交流するようにして、農民たちの参加と疎通を引き出すことです。二番目は、周期的な宣伝活動を展開して企業の発展が周辺住民と農村、地方経済にもたらす良い点を広く知らせて‘工場が栄えると私の栄光があり、工場が倒産すると、私の恥だ’という道理を悟るようにならねえ。みんなが心と力を合わせなければなりません。第三は、テーマ教育を実施することです。例えば、復興村に現れた外来労働力と事業者に対する差別待遇と蔑視現象について住民に外来の人材も企業の中堅力量であり、外来企業人も地方経済繁栄を導く功臣であることで彼らを尊重して愛しなければならないと教育を実施して、この悪い現象の蔓延を効率的に抑制しました。

2) 環境管理発展水準到達:第一は復興グループの大型プロジェクト現場で1つのプロジェクト、1人の村幹部、1度に完成という‘4つの1’作業メカニズムを実施して復興グループの土地購入、免許取得、土地補償など方面でワンストップサービスを提供することです。第二は、定期的にワーキングチームを構成して復興交番、会社保安課と協働して企業周辺の環境について集中的に治めて企業と周辺の住民たちとの対立や紛争解決に協力し、‘4敗6強(四霸六強)’と企業の正常生産秩序を妨害する行為を一掃して企業の生産の‘ゼロ妨害’を実現することにより、企業の発展のために良い外部環境を造成することです。

3) 生活物流保障のレベル到達。復興グループの広範囲な消費者の需要を満足させるため、復興村は‘米袋’と‘野菜カゴ’建設に注力しました。

全村は優良品質の稲1600苗、ハウス野菜300苗、水産物養殖団地800苗と家禽の飼育業者18箇所を発展させて復興農業貿易市場物流の主要経路地域群として、物価を抑制し、住民の生活に便宜を提供しました。これと同時に、住民を率いて商業貿易、飲食業と運送業を大きく発展させることにより、会社の社員に便宜を提供することはもちろん、住民たちのためにも所得を上げる機会を増やしました。

生産要素が復興地域経済で新たに組み合わせられて最適化配置されて‘5町村’と‘3到位’の相互作用と連結は、村と企業双方が漸進的に相互の需要、優位相互補完、共同発展の新型協力関係を形成しました。

3. ‘以企带村’方針の運営成果

およそ10年間の摸索と実践を通じた‘以企带村’は目立った成果を出し、立体的かつ総合的效果を見ました。

1) 都市化が急速に進んでいます。‘以企带村’を通じて復興地域は3代転換が起きました。1番目は農村が都市への転換を実現しました。、漢江周辺の平凡であった村が10年間の絶え間ない張力で波のように拡散、膨張して規模が絶えず拡大されて5km以内に人口約3万人を持った現代化の機能を持った中心町に浮上しました。10個の並木路、2000棟の高品格別荘と行政区、工業区、商業区、生活区、文化教育地区、レジャー区、民営経済区、現代農業示範区が秩序整然と並んでおります。銀行、ホテル、ショッピングモール、学校、劇場、体育館、公園、病院、福祉施設、水道公社など、すべての施設が集まっていて、6本の外部へ通じる道路が四面八方を繋げております。2002年復興村の1500人余りの農民のうち、200人の農民たちが異なる経路を利用して復興邑を尋ねましたが、まだ1200人の年寄りたちが依然として各自の田舎町を守っています。復興グループは、農民たちの要求に応えて高い基準で農民たちの新しい基盤を企画して建設しました。住宅改善事務所を設立して‘4通’、‘3通’、‘3個’つまり統一企画、統一設計、住宅団地の統一供給、統一補助基準と電気、水道、道路の開通と首都、トイレ、ゴミの排出問題の改善を実施しました。家庭年間所得が全村平均年間所得より低い家庭を相手に2万枚あまりのレンガを提供し貧困世帯には3-5万円の補助金を支援しており、古い家の撤去補助金は1m2あたり40-70元としました。環境を美化するため、復興グループは100万元をかけてヒマラヤスギ、桂樹、白木など20種あまりの造景植物を購入し、農民たちの新しい住宅の前に

えて1距離1の風景、1区域1の風景のパターンを形成しました。現在、復興村はすでに9つの小組900余世帯が2階構造の古風なヨーロッパスタイルの新しいアパートに入居しており、残っている3つの小組300余世帯も今年の年末ごろには改造が終わるはずで、それから、2004年7月には省の管理区域である復興工業区を設立してハンチュワン西北部の工業都市、経済情報の中心地になりました。2005年4月、ハンチュワンシ政府はチョンフジンを復興鎮へ変更して陣の住所を復興村に移転させて陣区企画面積10km2で現在建設中にあります。第二は、第1産業が第2産業、第3産業への転換です。現在復興地球の2、3産業の割合はすでにすべての産業の98%を占めており、ハイテク産業がかなりの割合を占めています。復興地球は各種の生産要素を吸収するブラックホールになりました。この山間湖が村に全国各地の約2万人の人材と企業人たちが定着し、100カ所の大小の企業が投資しており、ハンチュワンシの農業銀行、商業銀行、交番工業と商工、税務、郵便局など一連の行政施設、その他の社会公益事業機構までも先を争ってここに腰を下ろしました。今日の復興は既に全国20余りの省、市、自治区の1000人余りの大学生と工学技術人材が集まっており、米国、日本、イタリアなど10カ国余りのバイヤーたちも絶えず出入りしています。人材集成と人文繁栄は企業の発展を促進して現地社会、経済、文化の発展を推進する原動力となりました。第三は、営農人の産業公認への転換を実施しました。4000人の農民たちが現地の転換を実現したが、そのうち福興グループで勤務した人員だけで約3000人に達し、これらの平均月給は1000あまりの元であり、第3産業に従事する人材は1000人であり、二つ村の全体労働力の85%以上を占めます。2005年、復興村は経済総収益1.98億元を達成しており、村級工業は販売収益1.3億元、村級経営に当たる純利益は900万元に達し、全城村級経済実力500強モデル村に選ばれました。農民たちの平均純収益は7000万元線を突破して7250元にのぼっており、これは10年前の10に相当し、ハンチャンシ農民平均年間所得の1.25倍になります。

福興住民兼グループ8工場の工人であるスファンチャイと彼の妻は1997年から出勤しました。出勤前、彼らの生活はとても貧しく、低くて狭い、小部屋で生活していたし、子どもたちの学費さえ出すことができない状況でした。しかし、出勤後には生活状況が日々良くなって新しい家も建てて新しい家具も入れ、会社で子供たちに学資金支援金まで出て生活が都会人たちよりもっと豊かになりました。調査によれば、この村の95%に達している家庭は全部で何万円の貯蓄があり、数百、数万元を持つ富裕層も少なくないそうです。昨年、ハンチュワン農業銀行復興知行の預金預金の預かり額は1.5億元と、ある面では福興人の富裕の水準を反映しているとも言えます。

2) 文明水準とは絶え間ない向上であります。復興地球はテンモン、ハンチュワン、セントウの3地域の境界に位置しており、ハ氏家、李氏家、チャン氏家の三姓の密集地域であって、歴史的にお互い敵対視して種族間の紛争がよく起きていました。‘以企带村’後、住民と企業両方で農民たちの公衆道徳意識、対人関係儀式、公衆衛生意識、公衆生活意識を重視しており、健康文明の新たな風潮を先導しています。

10年間、継続して‘5号家庭’、‘10星級文明戸’選抜活動を堅持しています。選抜基準は衛生清潔、家庭和睦、集団に対する関心、規律と法規の純水遵守など様々 方面のものです。‘5号家庭’と‘10星級文明戸’には上場を発給するほかに復興グループの年末決算にも含めて表彰し、1000-2000にも至る奨励金も授与しました。7級以下を受けた農民についてはイエローカードを出して警告し、関連福祉をキャンセルしました。復興村はすでに78%に達している家庭が会社の表彰を受けました。復興グループは‘2心1成’、‘3話3興’、‘4の目標’、‘3冠5徳’、‘6の言葉’、‘ブシン人としての仕事の処理基準’など教育を企業で、農家で、社会で、学校で、店で実施しています。先進文化で住民の思想を率いて感化させ、‘文化活動は復興で、読書活動は復興で、文化講座は復興で、文化展示は復興で’という活動を展開しています。復興劇団、文化工業団など企業や農村のためにサービスして先進文化を伝播することを彼らの義務としており、‘福の中で’、‘復興地球の恩恵’など40あまりの富の住民たちが楽しんで見る喜劇や歌謡を作りました。2004年には社会上で人々が裕福になったら妾を置くのと同じ現象について、大型、現代劇‘福の中で’を創作して正義を具現して邪悪を退ける話が生動して真実性があり、多くの人たちが涙を流しながら視聴し、教育意義と現実意義が強いので、復興劇場で保存することにしました。 第8回中国‘サツギ’民間演劇フェスティバルで金賞を受賞し、全国‘サンボクム’文化先進集団の称号を授与されており、今年4月にはまた、第7次湖北演劇モクダン賞を受賞して現在は6月にあるかジンジン回報公演準備をしています。 希望があふれる平原を文化でしっとり濡らして群衆たちの精神世界に大きな変化が起きました。みんなが心を合わせて企業の発展を支援し、企業の利益を保護しています。自発的に村の衛生を守って草花を保護し、村と住民の風習が純朴で人間関係が和睦し、治安状況がはっきりと好転し、子供たちが先を争って両親を扶養する新しい風潮が生まれています。復興グループは最近、2つのシルバータウンを追加で建設することで、老人が増えつつある需要を満足させるために準備していたが、市場調査を通じて88%の若者が老人たちと一緒に過ごすことを望んでおり、家庭で老人を扶養していてしばらく建設計画を保留しています。 最近、この村は前後に市文明村親孝行単位、湖北安全文明村に選定されまして、復興の町も湖北文明団地に選定されました。

3) 労働力素質の不断の向上であります。

知識型農民です。天候は偏屈な村で農村社会事業が遅れていてほとんどの農民たちが、まともな教育を受けられなかったです。10年前、復興村の子供たちは中学校までに卒業しても‘文化人’とし、ほとんどすべての住民が文盲でした。 ‘木がよく育つには根を強固にしなければならず、遠く流れるとすれば水の源泉をうまくコントロールしなければならない’という言葉があります。会社は果敢な決断を下して子供たちからスタートして復興の教育事業を発展させ始めました。1996年、280万元を投資して復興小学校学校庁舎を建設し、教授設備を買い入れて復興小学校はハンチュワン市のモデル学校として急浮上し、教育の質も大きく向上されました。1997-2000年には順序で390万元をかけて復興中学校(高等学校を含め)を設立し、2棟の現代化学学校庁舎を建設してハンチュワン市一流の語学室、化学実験室、電子工学実験室を建設して復興村の子供たちの周辺地域の子供たちに比べて少なくとも5年はまず、現代科学技術文明の恩恵を受けています。2005年には復興の中学校の中間順位がハンチュワン市3強に入り、98の学生が修学能力試験に参加して68人の学生が大学に入学しています。なお、彼らは大学に入った学生たちは会社から学費の半分に相当する資金の支援を受けられるように決定しました。‘10のためには木を植えて100年に向けては人を植えなさい’という言葉と一緒に教育事業の隆盛は復興地区の発展に大きな影響を与え、新しい世代の文盲が生まれることを予防し、その後に職業教育を受けて迅速に就職できる基盤を整え、青少年らが学校をやめることにより、あまりにも早く社会に追い込まれた現象を防止しました。統計によれば、現在復興地球の86%の青年たちは高校以上の学歴を所有していることが明らかになりました。

機能型農民です。もし農民たちの技術能力を高めなければ、農民たちの就職の機会を増やせないだけでなく、後には社会競争力にまで影響を及ぼすことになります。2003年、復興グループと武漢科学技術大学は共同で100万元を投資して 復興職業技術学校を設立しました。注文書による教育路線を選択して労働力に転換される前の職業技術能力教育を実施して漸進的な学生募集で職員募集を代替しました。すべての短期大学から全日制大学課程を開設して本地域の当該や、既存の高等学校卒業生を募集して学校に通う1年間学費と宿泊費を免除しています。開設科目は国語、数学、英語、パソコン、機械設計と製造があります。学生たちを作業能力が優秀な職員として育成するため、無限グックハク技術大学教授陣と復興グループ工学技術人材は共同で授業を受け持っています。すでに2期の132人にのぼる学生が卒業して会社から出勤しており、彼らは普通の職員たちより20%以上高い賃金を受けています。

管理型の農民です。復興、リファの両村復興グループで勤務する人員3000人のうち、320人が長年の鍛錬と経験で中級以上の技術という肩書きを受け、55%の人たちが職業技術教育を通じて初、中級の専門レベルに到達して合格された産業、公認になる、企業の労働者として成長しました。彼らは華中科学技術大学、無限大学、無限科学技術大学など12つの大学と共同でEMBA修士課程、会計計算機過程、英語の専門課程を開設し、委託教育生の教育も担当しています。また、時間通りに優秀な人材で職制を強化しました。復興村村民兼1工場の工場長だっチャン・スチャイは1000人が勤務する1工場を完璧に管理しており、現場管理、設備管理、品質管理、原価管理を正常な軌道に置きました。彼の優れた成績は彼を会社の副総経理に、2003年には会社の総経理に抜擢して全面的な事業を目配りするようになりました。復興中学校から大学に入学したフ・スサンは今年35歳として卒業後会社の福州市販売部で働いて、業務実績が優れて2000年11月に財務最高管理者兼総経理補佐官に抜擢されました。現在復興グループ60%の中層以上の役員と70%の班長らはすべて復興村とリファ村住民であります。

‘木は根があることにぼうぼうと生えて、水は根源があることに絶えず流れる。’という言葉のように、労働力の資質のたゆまぬ向上だけが知識をもって文化の持つ 新型農民が排出できるし、これは企業に安定的な職員軍を提供し、企業の繁栄と成功のために丈夫な基盤を作り上げました。

統計によると、10年以来復興グループは累計6000万元もの資金を復興地球のインフラ構築と公益事業の発展に投資したが、タングンイエンは企業が毎年利潤の1/30あるいは1/40を‘以企带村’に投資していても、農村の大変革と企業の大きな発展を持って来られるのでその価値があると言いました。

確かに、復興グループが‘以企带村’方針を推進することにより、復興地域住民の経済、社会、政治、文化生活など、多くの面で大きな変化と影響を持って来て、またこれからも継続してもたらしめるものであり、旺盛な生命力を見せています。復興地域の農村経済社会の発展に伴い全体の農民たちの資質が向上することであり、彼らは社会主義新農村建設のための歩みをもっと大きく、早いし、もっと遠く踏み出して進むことを私たちは確信できると思います。

主題発表 05

コミュニティビ ジネスと兵庫県の事例

池上隆久(日本 兵庫県)



第10回NEAR経済・人文交流分科委員会

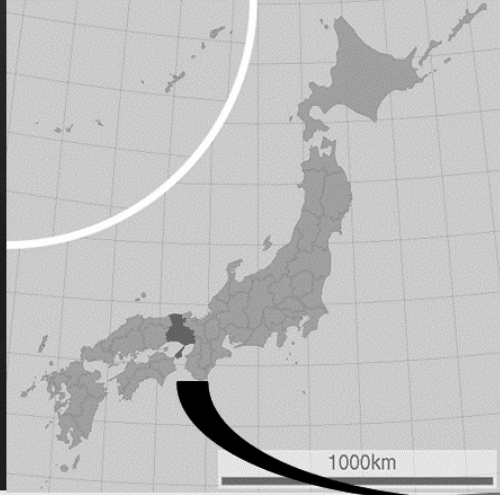


コミュニティビジネスと 兵庫県の事例

2013年12月12日
兵庫県国際交流課(NEAR事務局派遣)
池上 卓久

【兵庫県の紹介】

- ・南部は重工業地帯、北部・中部・淡路島は農林水産業⇒日本の縮図
- ・人口:約555万人(全国第8位) ・面積:8,396km²(全国第12位)
- ・県内総生産:約19億ドル(全国第7位)




2

【自己紹介】

1976年生まれ 兵庫県神戸市出身
 1995年 関西学院大学史学科入学(東洋史専修)
 (※阪神・淡路大震災が発生した年)
 1998年 上海にて留学(1年間)
 2001年 兵庫県入庁
 2007年 在広州日本国総領事館へ派遣
 2009年 兵庫県国際交流課
 (中国、ロシアとの交流等を担当)
 2012年 NEAR事務局へ派遣

1

1. コミュニティビジネスとは

○現在のところ定義はない
 ○一般的には、
 →地域が抱える課題をビジネスの手法で解決する取組
 →地域の資源等を活かすため、新しいビジネスの手法を考案・適用
 ○地域性・社会性・事業性・革新性を伴った事業で、NPO、企業、個人、組合、任意団体など、事業者の形態は不問
 (※コミュニティビジネスは韓国のマウル企業と類似した概念)

・地域性:小・中学校区、生活圏、市町村の単位等の範囲など
 ・社会性:使命は社会的課題の解決(兵庫県の場合は、地域的課題の解決を目的とするもの)
 ・事業性:ビジネスとして継続的な事業活動
 ・革新性:新しい商品・サービスやその提供の仕組みの開発
 ・主な活動分野:①福祉、保健、医療 ②青少年教育 ③環境 ④まちづくり
 ⑤就業支援 ⑥地域資源活用 ⑦災害支援 ⑧観光、交流
 ⑨文化、芸術、スポーツ ⑩上記活動に関する支援、サポート等

3

2. コミュニティビジネスの時代背景

- ・バブル経済期を経て、日本では低成長・成熟社会を迎える
⇒価値観が「金銭的・物的な豊かさ」から、「心の豊かさ」へ
- ・大型店舗の増加、核家族化などによる地域の繋がりの希薄化
⇒地域社会再生に対する要求の高まり

社会の変化へ
対応が必要

- ・やりがい(心の豊かさ)作りや地域住民を繋ぐ方法としてコミュニティビジネスが注目を集める
- ・コミュニティビジネスは70年代に欧州で誕生した新しい概念であるが、地域中心でのまちづくりという点では、日本古来の「村社会」への回帰とも言える。

4

4. 行政のコミュニティビジネスに対する取組

- コミュニティビジネスは、地域住民やそれを主体とした事業者による活動
- ⇒行政は専門家、金融機関、学校、企業などとともに、必要に応じて支援者の一人として地域住民を側面からサポート

【中央政府】

コミュニティビジネスを所管する省庁はなく、それぞれの立場から取組

- ・総務省：地域活性化の立場から
- ・経済産業省：産業支援の立場から
- ・内閣府：NPO支援の立場から 等

【地方自治体】

補助・委託による資金支援、人材育成、各種セミナーなどの普及活動
⇒中央政府よりも地方自治体(特に都道府県)が積極的に支援している場合が多い。

6

3. コミュニティビジネスの特徴

- ①地域住民が主体的に取り組む地域密着型のビジネス
- ②利益追求を第一としない適正規模、適正利益のビジネス
- ③営利を第一とするビジネスとボランティア活動の中間
- ④地域や人のためという「志」

《コミュニティビジネス形成のモデルケース》

問題意識を
持った住民が
地域で活動

数名の住民が共
に課題を解決する
ためにグループ化

新しい形のコ
ミュニティ(事業
体)の形成

5

5. 兵庫県の取組

(1) 立ち上げ経費の補助

- 1999年、阪神・淡路大震災の被災地におけるコミュニティの再生や雇用の確保などを目的として開始。
- 2001年、対象地域を被災地から全県に拡大。
- 2012年、高齢化社会に対応するため、高齢者コミュニティビジネスに特化した補助制度も開始。

《補助事業(2013年)の概要》

名称	コミュニティ・ビジネス離陸応援事業	高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業
対象	①地域課題の解決・地域貢献を目的とした事業 ②地域住民の雇用機会拡大に効果がある事業 ③ビジネスとして継続的に実施される事業	①地域課題の解決、地域貢献を目的とし、地域と連携した事業 ②ビジネスとして継続的に実施される事業 ③55歳以上の者3人以上を構成員とすること ④55歳以上の者2人以上の雇用を創出すること
予定件数	9団体程度	30団体程度
補助期間	1年間(2013年4月1日～2014年3月31日)	
補助率	補助対象経費の1/2	
補助金額	最大100万円	

7

(2) 生きがいごとサポートセンターによる各種支援

- コミュニティビジネス等を支援するため、NPO等と協力して、県内6ヶ所に「生きがいごとサポートセンター」を設置し、情報提供、相談業務等を実施
- 兵庫県から6ヶ所合計で約5000万円を補助
- センターのない地域では、出張セミナー等を実施

《主な事業内容》

- ① 情報提供
- ② 各種相談
- ③ 実務講習会等の開講
- ④ コミュニティビジネスへの職業紹介



8

(1) NPO法人サポートセンター木立



作業所「軽食・喫茶の木立」



作業所で調理した弁当



作業風景



イベントでの弁当販売風景

10

6. 兵庫県の事例紹介

(1) NPO法人サポートセンター木立(加古川市)

「弁当調理等を通じた障害者の就業訓練と地域との交流」

【事業概要】

障害者が社会的スキルを身につけ、働く喜びを得る地域活動支援センター「軽食・喫茶の木立」等3つの作業所を運営。

作業所では、精神的及び知的障害者のメンバーが接客、調理、弁当の盛付や宅配などの業務を行うほか、刺繍・書道・絵はがきなど地域の人々の作品を販売する等、地域との交流にも努めている。

【メンバー定員】50名(3作業所合計)

【事業収入】約3,200万円

(理事長 難波 勉氏)



9

(2) NPO法人コムサロン21(姫路市)

「アイデアを地域の資源と結びつけ地域活性化」

【事業概要】

市民活動の事務局代行機能を持った交流サロン。一人では実現が難しいアイデアを人的なネットワーク支援や事務局機能代行により支援。生姜醤油で食べる「姫路おでん」、地元の特産品の生産者が自ら持続的に販売・PRに携わる地産地消活動「亀山御坊楽市楽座」等、面白いアイデアを地域資源と結びつけ、地域活性化を進めている。

なお、生きがいごとサポートセンター播磨西を兵庫県と協力して運営している。

【会員数】約160名

【事業収入】約5,000万円

(理事長 前川 裕司氏)



11

(2)NPO法人コムサロン21



「姫路おでん」を通じた地域活性化



生姜醤油で食べる「姫路おでん」



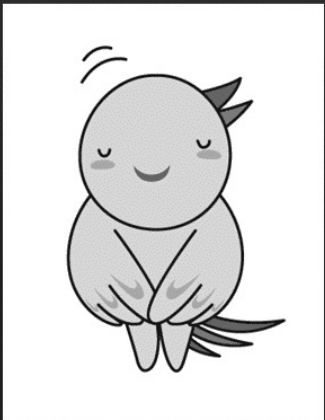
生きがいごとサポートセンター 播磨西のセミナー



コムサロン21 が復活を支援した「書写塗り」

12

ご清聴ありがとうございました



兵庫県のマスコット「はばタン」

14

第12回防災分科委員会

- 時 期:2014年3月頃(4日間)
- 場 所:兵庫県神戸市ほか
- 内 容:地震防災対策を中心とする研修会・視察等

<第11回防災分科委員会概要(2013. 3. 11~3. 14)>

- 参加者:4カ国16団体29名
- 講演:「兵庫の防災」
- 国際防災機関との意見交換会
 - ・アジア防災センター(ADRC)
 - ・国際防災復興協力機構(IRP)
- 視察:人と未来防災センター
兵庫県広域防災センター
Eディフェンス
- ※地震体験、煙避難体験等も実施



<国際防災機関との意見交換会>



<起震車による震度体験>

13

主題発表 06

アルタイ村の発展

－農工業複合地域の成功的発展のためな基礎

Zhilin Alexander
(ロシア・アルタイ変更州)

NEAR THE 10TH SUB-COMMITTEE ON
ECONOMY & HUMANITIES EXCHANGE

アルタイ村の発展

- 農工業複合地域の成功的発展のための基礎

Zhilin Alexander
(ロシア・アルタイ変更州)

尊敬なる小委員会会議に参加している皆様!

アルタイ地方の農村地域の発展に関する情報を申し上げます。

アルタイ地方は、ロシア連邦内で最も規模の大きい農業地域の中の一つであります。

農業経済の比重とは、ロシアが 6-7%であるに比べ 地域 総生産の 18% 以上を占めております。地域のほぼ半数以上の住民が農村地域に住むので、(国家資料によると、この数値は26.1% 水準) 住民らの生活水準や生活環境を改善するのがアルタイ 農業 部門の発展のためには真に重要なこととなります。

アルタイ地方が投資えを受けることになってから、新しい技術を導入したお陰で連邦はもちろん 地域の目的プログラムの一環として、農村を安定的に発展させるよう総合的な支援体系が具現されました。

私の演説(発言)では現在のアルタイ地方で進行されているすべての目的のプログラムに触れるつもりはありません。但し、その基礎になるものを皆様方に知らせるために努力いたします。

10年に渡ってアルタイ地方は、《2013年までの村の社会発展》と言う連邦の目的プログラムに積極的に参加しました。このプログラムは、5千名以上の農村家族らの生活条件を向上させまして、数百キロメートルに至るガスパイプラインや水道管、送電線の開設が可能になり村で自動車道路を利用できるようになりました。

そのうえ、我が地域はロシア領土内で地域社会(コミュニティ)複合コンパクト建築のプロジェクト具現のための 見本(標本)に入りました。

今年のロシア連邦政府は 《2014-2017年および 2020までの農村の安定的発展》に関する新しい連邦目標プログラムを承認しましたが、これは国家の計画に従って村の生活条件を順次的に 正常(標準)的な状態に作って行くことであります。住民達に取っては、住宅や建築、社会および技術インフラの 敷地のための公的資金を支援することだけでなく、農村地域開発のための地域イニシャチブ補助金の 支援および成果を奨励して 普及する方向へいけるよう提案しております。

村を支援する地域対象プログラムの中で、2012-2020年間の 《アルタイ地方の農村地域の 安定的な発展》というプログラムに注目するべきだと思います。アルタイ地方はパイロット地域になりまして、初めにこのプロジェクトを具現出来るようにしております。現在、地方のすべての地域にて類似な 地域プログラムを開発しており、新しく国家の支援を受けるために研究をしております。また、地方内の農業地域の社会経済問題に対して包括的なソリューションを提示しようと建設、酪農業および農場を再建して現代化する方向へと他の地方プログラムを育てております。プログラム具現の価値(重要性)と言えるものとは、結局、農村 地域にて新しい生産性の高い職場を創出し、世界水準の技術を持つ農工業 複合団地を作って村経済およびインフラを発展させるのであります。

その他、アルタイ地方の農場主を支援し始めから一連の他のプログラムを具現しております。

アルタイ地方の農場や農場企業体では30歳未満の職員 8,500名を雇用しました。これは、若い専門家で構成されたチームという側面で見ているには、国家内で最も大きいグループの中であります。

従って、最近の過去 5年の間に農村地域ビジネス開発に関して最も深度ある論議を行った全ロシア青年大会が我が地域にて 開催されました。

別途に、官庁の目的志向のプログラムである 《アルタイ地方の農村観光発展》に関して詳細に議論したいと思います。農村観光こそ、農村を複合的に発展させられる効果的な道具の一つであることを真剣に考慮し、2009年、地域でこのプログラムが承認されるようになりました。農村住民のための農業 観光の経済的效果とは、次のような所で見るとかなり重要なこととなります。農村人口の所得水準の 向上、住民の雇用性保障、個人農場の製品販売が可能になるし、民族的の独創性と伝統の保存など、最近何年間の趨勢を見ていると、今日の農村観光は最も若くて有望な分野の中の一つであるをはっきりと言い切れます。

結論として申し上げれば、私はアルタイ地方のためには農村開発を促進することが優先されるべきの重要性をもう一度強調いたします。

全体的な整理にあたって申しますと、国家の成功的な社会経済発展のために最も大事な条件となるのは、農村地域の安定的な発展が支援できる多様なプログラムおよびプロジェクトを地域水準に合わせて具現することでございます。

会議に参加した方々にとって有益な 時間になると幸いに思います。

ご傾聴ありがとうございました。

主題発表 07

サハ共和国(ヤクチア)ハンカラスク 部落 -ネミュキュンツ・ヤクツ 自治区

Maxim Vasiliev
(ロシアのサハ共和国)

NEAR THE 10TH SUB-COMMITTEE ON
ECONOMY & HUMANITIES EXCHANGE

サハ共和国(ヤクチア)ハンカラスク 部落 ネミュキュンツ・ヤクツ 自治区を例える伝統的なヤクツ村の生活方式

Maxim Vasiliev
(ロシアのサハ共和国)

農村住民らの協力を原則とした領土 共同の 自治区

あらゆるヤクツ村では、トオウエルヴェ（ヤクツ語で訳すると “住居団地”）と呼ばれる領土共同の自治区が広範囲にわたって広がっています。 領土共同の自治区とは地理学的な原則によって分けられます。 ネミュキュンツ・ヤクツ自治区は、450人ずつ居住する 5ヶ所の領土共同の自治区に分けられます。 2年毎にこの住居団地の住民達によって選出された指導者および指導者の指定した理事会が領土共同の自治区管理機関になります。 ヤクツ自治区の大事な部分に関しては、協議を通じて厳しく行われます。造園、町の修理およびヤクツ自治区にて施行する文化やスポーツ大会に参加する問題、もしくは冬場に農業用家畜にどうやって水を与えるか（氷に穴を開けて家畜を飼うこと）などの問題が、すべて領土共同の自治原則に従って決まります。 領土共同の自治区は、よく住居団地の住民らの資金を共同組合の形で管理しますが、資金は大体、低所得家庭の子供の教育や治療、造園、子供達が遊べる公園造りなど、多様な対策を立ててから、それを解決するために執行されます。

領土共同の自治区の議長は、一般的に住民の中で尊敬されていて管理能力を備えた人が住居団地の住民らによって選出されます。住民らは自治区の首長および行政機関とともに共同で領土共同の自治区の暮らしの問題に関して協議し、その問題を解決するための計画を立てます。

領土共同の自治区のあらゆる作業は点数(評点)が合算されますが、年末にその地域および他の住居団地から受けた点数(評点) の合計を計算して優勝者を決定します。あらゆる領土共同の自治区は、年末に彼らの作業に対する褒章の形で賞金やお土産が授与されます。

馬の飼育 事例からみた農村協同組合

馬の飼育は現代の ヤクツ村経済にとって核心的な役割をする伝統的経済産業分野であります。

まず、ヤクツ馬の繁殖特性に関して簡略に申しあげます。 ヤクツ馬とは、タイガおよび草原地域で年中にわたり自生的に放牧されているとても強く丈夫なペットであります。出生前に寒さの厳しい零下の冬や早春には、馬に追加の飼料を与えます。ヤクツ馬は、道を案内する大将馬が馬群れを率いる場所である «アトオル・ウイエレ(atyyr uere)» の原則に従って繁殖されます。 18~ 24匹の雌馬と小馬、そして家族の馬らが 放牧されます。

馬らの飼育において協力の原則とは、住民達によって各参加者たちが持分(配当)のある共同企業を構成するのであります。 - この持分とは雌馬もしくは数匹の雌馬になります。企業は決定を下ろす代表者を決めて統治行政権も持ちます。 それから、企業は毎年小馬を産む馬の匹数をきめます。小馬の数は、 屠畜用もしくは販売用によって決まります。屠畜する各株主(組合員)達は雌馬や数匹の雌馬に対して毎年賃貸料(費用)を払います。その金額には一年の間に企業が払うべきすべての費用が含まれます。 会社の受益は株主(組合員) の間で販売受益や小馬を分ける方式で分配します。居住地にある馬の総匹数は人口により変わりますが、ネミュキュンツ・ヤクツ 自治区には 1,100匹の馬があります。

馬の飼育において村住民達の協力こそ、もっとも効果的な経営形態の中の一つで、彼らの所得の源泉とも言えます。そして、馬の飼育は ヤクツ人にとって生き方の一つであり、彼らの伝統的な生活の方式であります。

MEMO

A double-page spread of a notebook. The top of the notebook features a header with a world map. The left page is labeled 'MEMO' in the top left corner and has 21 horizontal lines. The right page also has 21 horizontal lines. The notebook is open, showing two facing pages. The background of the notebook cover is a light gray with a subtle world map pattern. The pages are white with thin, dark horizontal lines. The notebook is bound in the center, and the pages are slightly curved as if being turned.

A double-page spread of a notebook. The top of the notebook features a header with a world map. The left page is labeled 'MEMO' in the top left corner and has 21 horizontal lines. The right page also has 21 horizontal lines. The notebook is open to a spread of two pages, with the left page numbered 112 and the right page numbered 113 at the bottom. The background of the notebook is a light gray color, and the pages are white with thin black lines.

MEMO

This image shows a double-page spread of a notebook. The top of the notebook features a decorative header with a world map. The left page is labeled 'MEMO' in the top left corner and has 21 horizontal lines for writing. The right page also has 21 horizontal lines for writing. The notebook is open to a spread of two pages, with the left page numbered 114 and the right page numbered 115 at the bottom.

This image shows a double-page spread of a notebook. The top of the notebook features a decorative header with a world map. The left page is labeled 'MEMO' in the top left corner and has 21 horizontal lines for writing. The right page also has 21 horizontal lines for writing. The notebook is open to a spread of two pages, with the left page numbered 114 and the right page numbered 115 at the bottom.

NEAR

**THE 10TH SUB-COMMITTEE ON
ECONOMY& HUMANITIES EXCHANGE**

**THE ENCOUNTER OF NORTHEAST ASIAN
ECONOMY AND HUMANITIES JAPANESE**

